

## 2. 文化財の活用

### (1) 市民との協働

地域の方に文化財の活用に参加していただき地域全体で事業に携わる事により、郷土のことを見つめなおし、さらに関心を持っていただくことができる。また地域に伝わる文化財について知ることで、伝統文化、例えば民話などの保存と継承、地域の文化財やその保存修復のための技術の掘り起こしと保護・継承、伝統芸能の保存・継承につながる。

そこで「小城お宝応援隊」、「小城の語り部」、「小城だいでん学芸員」などの制度を導入し、市民に活動していただく。このような制度によって活動していただく場合、完全にボランティアという形ではなく有償で、例えば利用者から報酬を得てそれを登録者に還元していくということも検討する。自分の活動に対して報酬などの評価を得る事でやる気の向上が期待できであろう。また文化財の活用に関わっていることが誇らしく思えるような工夫も必要である。

#### 1) 小城お宝応援隊の協力

現在小城市内の様々な団体が、地元を愛し盛り上げていきたいと考えて活動をおこなっている。その活動の中には建造物などの文化財を利用したイベント等も企画され、実行されている。そこでそのような団体の自由な発想力と軽快なフットワークに期待し「小城お宝応援隊」として文化財を利用したイベントの企画運営などを依頼する。その際に市はイベントをおこないやすいようにサポートをすることが必要である。例えばお宝応援隊が文化財を利用したイベントをおこなう際の使用許可が簡略化できるといったような仕組み作りを検討する。

またその団体の特徴を活かした活動の支援も考えられる。例えば小城の文化と歴史の研究と継承を目的として活動している団体であれば、文化財の案内を依頼したり、市民の文化財への認識を高めるための講座や行事への取り組みや、学校や地域への出前講座などの依頼が可能である。

#### 2) 小城の語り部の活用

「小城の語り部」とは地域住民に文化財やコースのガイド、講師、市内文化施設の運営協力等として活躍してもらうための制度である。地域住民で文化財に関する知識や関心、伝統的な技術を持った方に「小城の語り部」という人材バンクに登録していただき、フィールドミュージアムでのガイドやイベントの運営、講師などの人手が必要な際に活動していただく。活動の内容としては、各文化財やコースをめぐる際のガイド役、学校教育や生涯学習などの教育の場での講師として、また各イベントの際のスタッフとしてなどが考えられる。それぞれの得意なこと興味のある分野での活躍を期待する。

### 3) 小城だいでん学芸員制度

学芸員とは博物館等で資料の収集、保管、展示及び調査研究などをおこなう専門職員のことをいい、その分野は考古学・文化史・民族学を含めた歴史学、美術史、生物学などが多岐にわたる。小城どこでんミュージアムにおける「小城だいでん学芸員」とは小城の文化財についての詳しい知識を持ち、その文化財を守り伝える意識を持ち活動をおこなっていく方のことをいう。

小城の文化財や郷土の歴史、文化、自然などに深い知識を持った方を「小城だいでん学芸員」として任命し、各文化財についての解説や利用者に対しての助言や指導をおこなっていただく。また、文化財に因んだ企画を開催したり、講演会における講師、文化財の調査、管理などの役割を担っていただく。

## 3. 産業振興と観光との連携

その土地ならではの産業というのは、その土地の風土や文化と密接な関わりがある。そこで地域の産業を文化財の一つとして活用し、小城どこでんミュージアムを構成する要素の一つとする。例えばコース設定の際に小城の特産品を知つてもらうために産業の現場の見学を盛り込むことなどである。その際単に見学するだけではなく、どうしてその産業が小城に生まれ、根付き、発達してきたのかを知らせることで、理解をより深め、文化に触れてもらう。その際には地元企業の本構想への理解と協力が不可欠である。

ほかにも農産物直売所などを各コースの拠点として案内板の設置や情報施設としての利用など活用したりすることが可能ではないだろうか。

また歴史文化を楽しみながら学ぶことが観光につながる。そこで小城どこでんミュージアムを貴重な観光資源の要素と位置づける。また小城の文化財などについて楽しく学んで貰うための資格制度として「小城はかせ」の認定試験をおこなう。

また、市外のイベント等でも小城市的文化財と関連のあるものに関しては連携をとり、お互いに協力することも有効であると考える。

そして観光等で小城を訪れた際に、小城に対していい印象が残ればそれが口コミとなり広報活動の効果が期待できる。

## 4. 「小城ふるさと学」の提唱

文化財を通じて小城の歴史・文化を学び、小城についての深い知識を得ることのできる「小城ふるさと学」を提唱する。

例えば、学校や地域での行事などの際に文化財を活用しながら郷土の歴史について学ぶなど、フィールドミュージアムを学校教育、生涯学習などの教育の分野にも活用することのできる環境をつくる。

また、文化財を活用し体験を通して学習できるようなプログラムを設定することも考えられる。例えば石工、菓子作り、鯉料理などの伝統技術の体験である。これにより文化財の教育の場としての活用の幅が広がるとともに、認知度や活用頻度の向上にもつながる。

学校教育、生涯学習などで小城の文化財について学んだ事を発表する場を与えることも必要である。文化財についての報告会をおこなったり、自分達の学習したことなど知りえた知識をもとに実際にガイドを行ってみたり、などの目標を設定する事で学ぶ意識の向上が期待できる。

また、小城の文化財についての知識を持つ人が増えるということは、小城を担う次世代の育成にもつながる。そのため教育の場で地域の文化財や地場産業の見学など郷土を知る時間を設定したり、地域の歴史研究者や伝統継承者、民話のなど専門家や研究者による出前講座などが必要である。また浮立や宮座、にわかなどの伝統芸能への参加、地域の祭りや行事などの伝承文化への参加なども重要な継承活動である。

また、大学などの教育機関と協力し、それぞれの持っている貴重な知識や情報の交換をおこない、文化財についての理解を深めることも必要である。

また、前出の「小城だいでん学芸員」や「小城の語り部」として活動してもらう際に必要となってくるのは文化財に関する知識である。その知識を得るために研修会はもちろんあるが、小城の文化財に関する検定をおこない、合格者には認定証を与えるということも検討する。試験の問題やそのための問題集によって文化財のポイントがわかりやすくなるであろうし、また目標が明確になることで達成感を味わう事が出来る。

## 5. 物語の道の設定

小城市にゆかりのある人物や特徴のある文化財などについて深い理解を得るために、「物語の道」としてストーリー性のあるコース設定をおこなう。また、地図上に文化財等の小城どこでんミュージアムの資源の位置を配置した「お宝地図」を作成することで、物語の道を利用する際に参考となる。

そして、その中には小学校中学年から中学生くらいまでに適当な距離のサイクリングコースとしても利用できるものも何パターンか設定する。その場合、自転車の貸し出しをおこなうことやマップやサインを設置することで利用しやすい環境を整える。

(1) コース設定例 (\* : 時期により祭りの見られるもの)

1) 牛尾神社と峯入り

牛尾神社は肥前回峰の起点であり、牛尾山、丹坂峠、姫御前古墳まで遺跡が点在する。短いコースであるが行者の体験を感じてもらう。

- ・牛尾神社\*、別当坊跡、金毘羅宮跡、山崎観音堂、丹坂峠、姫御前古墳

2) 牛尾梅林コース

牛尾地区の梅と石造物を中心として巡る。

- ・牛尾梅林と牛尾神社\*及び周辺石造物探訪

3) 桜と文化と食のコース

小京都と呼ばれる地域を、食を中心として巡る。

- ・小城公園、桜城館、羊羹資料館、大門おこし、清水の滝周辺、小柳酒造

4) 咲く、咲く桜めぐり

小城市内の桜の名所を巡る。

- ・小城公園、千葉城跡、陽だまりの丘公園、海遊ふれあいパーク

5) 石工の里の石切り場と石造物

肥前石工たちの残した文化を巡る。

- ・石切場跡、空山観音、常福寺、永福寺、八幡砦跡、長崎街道、えびす像

6) 肥前鳥居と狛犬をめでるコース

肥前石文化を訪ねる。

- ・桜城館、岡山神社、須賀神社\*、岩藏天山神社、晴氣天山社、牛尾神社\*、生立ヶ里八幡神社、内砥川八幡神社\*、芦刈大天満神社

7) 長崎街道

西の浪花、商人のまちを思いおこすコース。長崎街道沿いのまちなみを巡る。

- ・牛津駅、寶積寺、乙宮社\*、正満寺、本町・新町界隈、砥川町、宿古賀、寺町、永福寺、船着場跡、税關跡

8) 羊羹と普茶料理につながる歴史

明治に始まり特産品となった小城の羊羹と、中国式の精進料理である普茶料理について学ぶコース。

- ・星巖寺、玉毫寺、羊羹資料館

## 9) 書聖梧竹さんをあるく

梧竹さんの足跡と筆跡を巡る。

- ・桜城館、勝妙寺、小柳酒造、梧竹観音堂、長栄寺、米ノ隈天満社、正満寺、小城公園内の石碑、梧竹通り、村岡総本舗小城本店

## 10) 江里山の棚田と滝を巡る

江里山の棚田を含めた自然と文化にふれる。

- ・江里山観音、七曜の滝、棚田公園、石体の公園

## 11) 干拓の歴史とむつごろう

干拓に触れ、干拓の暮らしを学ぶ。

- ・干潟体験場、ムツゴロウ・シオマネキ保護区、シチメン自生地、水産展示館

## 12) 丹坂峠の戦い実況ウォーク

丹坂峠の合戦場を古書に出てくる地名でたどる。

- ・丹坂峠周辺、牛尾山、柳鶴

## 13) 弥生の里と条里をたずねて

小城の米づくりの歴史を学ぶ。

- ・土生遺跡、条里の碑（ドウイング三日月）、カントリーエレベータ、ライスセンター、農業倉庫

## 14) 城館めぐりⅠ

小城の山城を巡る、体力の必要なコース。

- ・千葉城跡、晴気城跡、松尾城跡

## 15) 城館めぐりⅡ

小城の城館のあったところを巡る。

- ・牛尾城跡、高田城跡、芦刈城跡、徳島城跡、持永城跡、小城藩邸および石橋、神代館跡

## 16) 羊羹名店めぐりと桜岡

小城の歴史を、花と食を絡めて学ぶ。

- ・小城公園、岡山神社、桜城館、小城の町並みと羊羹店めぐり、羊羹資料館、えびす像

## 17) 山辺の道と名刹めぐり

山辺の道沿いに古路と自然を巡る。

- ・星巖寺、山辺の道、光勝寺（松尾城跡）、円通寺、祇園川、須賀神社\*、千葉城跡、玉毫寺

## 18) 山並み踏破、天山コース

天山の自然と文化にふれる。

- ・ほたるの里、清水の滝周辺、江里山の棚田、七曜の滝、晴気天山社\*、天山社上宮、八丁グリーンパーク、九州自然歩道

## 19) 古代寺院跡と古墳を巡る

古代の小城の歴史を訪ねる。

- ・桜城館、茶筅塚古墳、寺浦廃寺、一本松古墳群、権現山古墳、円山古墳、姫塚、夢とロマンの丘公園

## 20) 千葉氏ゆかりコース

千葉氏の歴史と文化を巡る。

- ・千葉城跡、妙見（北浦）遺跡、妙見社、円通寺、光勝寺、松尾城跡、妙見社、晴氣城跡

## 21) 鍋島氏ゆかりコース

近世小城をつくりあげた鍋島氏を学ぶ。

- ・小城公園、岡山神社、桜城館、西小路・鯖岡小路の武家屋敷群、星巖寺、三岳寺、牛尾神社\*、玉毫寺

## 22) 国登録有形文化財めぐり

国登録有形文化財であり 22 世紀に残す佐賀県遺産である建造物をめぐり、人と自然が織りなす食と文化の歴史を訪ねる。

- ・天山酒造、小柳酒造、深川家住宅、日本福音ルーテル小城教会、羊羹資料館、牛津赤れんが館、牛津町会館、清水の滝周辺散策と鯉料理、小城公園、千葉城跡、星巖寺、

## 23) 映画ロケ地めぐり

映画やドラマでロケ地として使われた箇所を巡る。

- ・千代雀周辺、須賀神社\*、祇園川、小城駅、小城高校校門

## 24) とんさん道コース

唐津往還の一部で殿様が佐賀へ往復のときに用いた道を巡る。

## 25) 通称地名から昔を推定コース

たち屋敷、矢形町、竹の下、のうて筋、館林、仏谷、おしょう谷などの通称地名を佐賀平野歴史地図から位置を推定し、歴史を探る。

- ・牛尾山周辺、晴気周辺、三日月、牛津、芦刈周辺

## 26) 蛍の里をぶらぶらコース

ホタルを待つ間に小城を知る。

- ・桜城館、天山酒造、小柳酒造、羊羹資料館、ほたるの里、須賀神社\*、祇園川、深川家住宅・土蔵

## 27) 巨木・名木めぐり

市内の歴史を感じることのできる巨木を訪ねる。

- ・大角槇、楠（織島神社、淀姫宮、千代雀、五条天満宮、七星宮、甲柳原天満宮）、銀木犀（勝妙寺）

## 28) 滝と鯉料理

天山の自然の雄大さと食文化を訪ねる。

- ・藤隠れの滝、清水の滝と清流、清水の鯉料理、七曜の滝、江里山の棚田、天山酒造

## 6. 情報提供について

小城市域をフィールドミュージアムとして考える場合、市民や来訪者に対して、文化財の内容やその所在地、おこなわれている行事などの情報を与える必要がある。文化財を知らせるために以下のような事が考えられる。

- ・「我が家のおたから」展示
- ・サイン
- ・データベースとインターネットの活用

### (1) まちかど展示

小城市民や来訪者に文化財を身近に感じてもらうため、市内の公共施設等に小城市的代表的な文化財を展示する。

展示をおこなう箇所としては、公民館や駅等の公共施設など管理のきちんとできるところで、ある程度の防犯対策が取れるところであることが条件となる。商店のウインドウなどを利用する場合には、「我が家のおたから」を展示して貰う。また、生徒・児童を対象として考えた場合、学校内に展示することも検討する。

また、22世紀に残す佐賀県遺産等の施設を町かど博物館との一つとして位置づけ、中林梧竹書や北島浅一絵画作品など、それぞれの地域、建造物の特色を活かした展示をおこなう。

## (2) サイン

サイン（案内板）の種類としては総合案内板、道路標識、誘導サイン、各文化財の説明板が挙げられる。本構想の中ではサインを設置する際に、それぞれのサインの特性ごとにテーマカラーや形式などの条件をつけ、それを例で示したものを提案し、設置する際にその箇所に応じたものを、条件を満たしたものの中で作成する。また、全てのサインにイメージの統一されたシンボルマークを入れることで、全体に統一感を持たせることができる。

また、他の計画等によって各種サインを設置する際には、本構想のサインとの整合性を持たせることも必要である。

### 1) 総合案内板

小城市域もしくは展示館（ゾーン）範囲の文化財を総合的に示すもので、各拠点施設に設置する。詳細についてはワークシートによって補完する。

#### ①設定条件

- ・景観に相応しいものとする
- ・市域全体（展示館範囲）の地図の表示
- ・駐車場、トイレなどの位置、見所の表示
- ・シンボルマークの表示
- ・他の案内板の位置を表示

#### ②設定イメージ（全地域用）



## 2) 道路標識

各文化財までのおおよその距離と方向を示すもので、主要な交差点や分岐点に設置する。

### ①設定条件

- ・目的地までの距離の表示
- ・シンボルマークの表示

### ②設定イメージ



## 3) 誘導サイン

文化財までのおおよその距離と方向を示すもので、付近の分岐点に設置する。

### ①設定条件

- ・景観に相応しいものとする
- ・グーンのテーマカラーを使用する
- ・目的地までの距離の表示
- ・シンボルマークの表示
- ・目的地までの方向、距離を明確に表示する

### ②設定イメージ



#### 4) 各文化財の説明板

各文化財の説明を行うもので、各文化財の所在地に設置する。

##### ①設定条件

- ・景観に相応しいものとする
- ・ゾーンの名称を表示
- ・ゾーンのテーマカラーを使用する
- ・関連文化財の表示
- ・シンボルマークの表示
- ・他の案内板の位置を明記する

##### ②設定イメージ



## 5) シンボルマーク案

・清水の滝



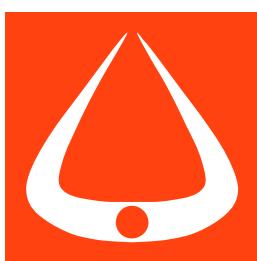
・天山



・姫御前古墳



・岩藏天山神社



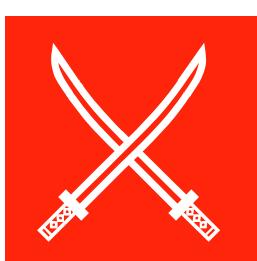
・江里山の棚田



・星巖寺楼門



・丹坂峠古戦場



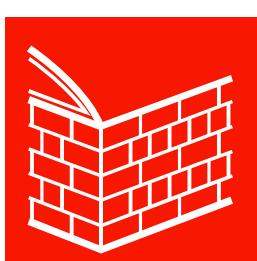
・土生遺跡



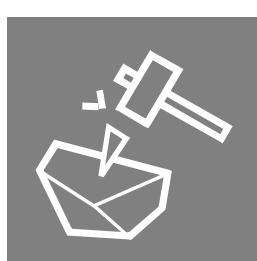
・梧竹観音堂



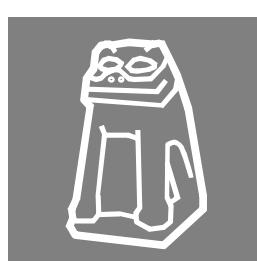
・牛津赤れんが館



・石切場跡跡



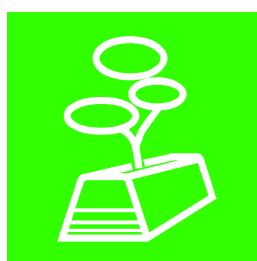
・内砥川八幡神社



・寶積寺



・松土居



・天満宮



### (3) データベースとインターネットの活用

小城市内に存在する文化財についての情報をまとめてデータベース化をおこない、「小城なんでん百科事典」として活用する。例えば展示として活用したり、インターネットなどを通じて発信情報源として利用したりする。

データベースの内容としては文化財のパノラマ化、レイヤー分けした地図の作成、古写真などが挙げられる。

パノラマ化とは画像をつなぎ合わせ1枚の画像にし、360° 見渡せるようにしたものである。パノラマ化を利用したものとして地図と連動したパノラマ動画がある。パノラマ動画を地図と連動させることによって、その地点で見える風景を離れたところでも疑似体験することが可能となる。また通常開放されない施設内部や仏像などのパノラマ化をおこなうことも考えられる。これを桜城館などの情報提供施設で公開することによって、文化財本体を損ねることなくその文化財の姿を常時公開することが可能となる。

レイヤー分けした地図とは地図上に複数のデータ、例えば時代別、寺社、古墳、条里などの種別のデータを重ね、多層にし選択することでその情報が表示されるようになることである。そのことにより、その文化財の分布状況などが明確になる。

また小城市内の様子を写した古写真を集め、現状と比較したり、情報提供施設で公開することで小城市的移り変わりを画像で確認できる。

訪問者への情報提供の一部として、携帯電話等の携帯端末を利用したデータベース情報の提供が考えられる。携帯サイトによって文化財の名称、解説、地図などの情報を提供する事で、情報の必要な時、場所での情報提供が可能となる。

携帯端末を利用してインターネットを活用する際に便利なのはQRコードである。QRコードとは二次元コードの一種で、黒と白の格子状のパターンに情報が詰め込まれている。それを携帯端末等で撮影し情報を取り出すことでアドレス帳への登録が容易になり、また指定URL（ホームページ）への誘導が可能となる。

定期的に情報発信するためには、RSSを利用して情報の更新情報を提供することも有効である。RSSとはWEBサイトの概要を記述するための形式で、これを使用するとサイトの更新情報をRSS情報を得ている人にタイムリーに送ることができる。

#### (4) 広報活動

小城どこでんミュージアムを実行していく上では広報活動が必要である。その広報活動としては来訪者に向けたものと、来訪者を迎える側の小城市民に向けたものが挙げられる。

来訪者に向けたものとしては、メディアなどを通じて、来訪者の興味をひき実際に訪れたいと思わせるような情報を広報することが挙げられる。例えば各種文化財の情報やイベントの紹介などである。これらの情報を公開する際には過剰な情報は公開しないようにし、特に文化財の情報に関しては実際に小城に訪れないと詳細はわからないようにすることが必要である。また実際に訪れた際に役立つ情報を知らせることも重要である。

本構想では市民との協働が重要となってくる。そこで市民に向けた広報活動として、市民に本構想についての理解を得られるものが挙げられる。本構想に概要についての情報など、市民が本構想について理解し、参加したいと思うような広報が必要である。

また来訪者を迎えるために必要な情報を広報することも挙げられる。文化財の情報など、来訪者に解説などをおこなうための基礎知識を得る情報を発信する。

どちらを対象とした広報活動にしても、恒常的に活動をおこなうことが重要である。

#### (5) スタンプ

本構想に統一感を持たせるために共通したスタンプマークを使用する。このスタンプマークは本構想のパンフレットやワークシート等の印刷物、案内板などのサインなどの本構想に関わりのあるものには表示することができる。このことにより、本構想に関わりのあるものに統一感が生まれるとともに、本構想に関連しているということが明確となる。

またこのスタンプマークはスタンプウォーカラリーをおこなう際にチェックポイントで押すものなどとしても使用可能である。

##### 1) スタンプマークデザイン





## 達成スケジュール

### 1. 実行推進

本構想を計画的に進め、実現させるための条件を整理する。

#### (1) 継続的な調査と保存対策

小城市内には多数の文化財がその存在を確認されているが、そのなかでも未調査のもの、調査途中のものが存在する。また、現在はその存在が確認されていないものもある。それらの文化財の計画的な調査をおこなった上で、その内容にしたがってフィールドミュージアムへの活用に反映させる。

#### (2) フィールドミュージアムとしての整備

各文化財、特に各地区の拠点となる文化財をフィールドミュージアムとして活用し易いように整備する。整備の際には景観保全などを念頭に置き、文化財の質を高める方策を探る。

また、文化財を「～小城どこでんミュージアム～ 屋根のない博物館」として活用をおこなっているということを、小城市内外に向けて情報発信し周知させることも利用促進を図るために重要である。

#### (3) 市民との協働

本構想において、文化財の管理や小城の語り部など地域住民の協力が不可欠である。よって市民への広報、啓発活動、さらには研修会が重要となる。

## 2. 実現化の検討

本構想は小城市全体という広大な範囲が対象となる内容であるため短期で取り組む内容と長期で取り組む内容とに分けて考える必要がある。

### (1) 短期計画

短期計画では地区拠点並びに利用度の高いもの、緊急性の高いものを中心として検討する。

期間は5年程度を予定する。

表6-1 短期整備スケジュール項目案

項目	概要
文化財の調査	文化財の現状調査、未解明文化財の検証、生態系の調査、レッドデータバンクの作成 等
文化財の保護対策	保護対策の対象・方法の検討、保護対策の実施 等
コースの設定	コース（物語の道）の設定、サインの整備、道程の検討、安全対策、パンフレット・ワークシート・お宝地図の作成 等
情報提供	我が家のおたから展示の協力者の募集、展示物の選定、サインの作成 等
	各種サインの整備、デザインの決定、設置箇所の検討、シンボルマークの作成 等
	データベースの作成、インターネットへの利用 等
広報活動	小城市内外への広報活動、パンフレットの作成 等
文化財の整備・管理	整備する文化財の選定、整備方針の検討、管理委託先の選定 等
NPOなどとの協力	団体の活動支援 等
人材バンクの活用	小城の語り部制度の導入、登録者の募集、研修会の実施 等
ボランティアガイドの育成	研修会の実施、文化財に関する検定の実施、問題集作成、ガイドの認定 等
産業との連携	地元企業への協力要請 等
学習への利用	体験プログラムの検討、学校への広報活動 等

## (2) 長期計画

長期計画では、短期計画に含まれるものの中でも、例えば各種サインの設置や文化財の整備・管理などの中でも、利用度の低いものや緊急性の低いものについて実施する。また、短期計画で取り組んだ内容に関しても、長期計画で恒常的におこなっていく必要がある。

調査では、現在正確な文献等の資料がなく、はつきりとした位置も定かでない遺跡文化財を対象とする調査も必要である。また自然や生態系の調査もおこない、小城の自然に関する調査研究もおこなう。他にも千葉氏や鍋島氏関連など、他地域と連携した調査研究もおこなっていく必要がある。

また、文化財の管理に関しては、可能なものから指定管理者制度の適用や、管理委託などをおこなっていく。

いずれにしても長期計画では、じっくりと時間をかけ、本構想が市民生活に溶け込み根付くような方策を取ることが重要であると考える。

## 3. 今後の対応

本構想に取り組むにあたって、導入時は市が主体となって取り組むが、徐々に民間活力を導入し、将来的には市民団体と協働するような行政と市民が一体となった活動に発展させることを目標とする。そのためには本構想を実施する組織づくりが重要である。

また、管理・運営のための条例・規則等を策定したり、地域の保全及び関連する施設・業務等との連携をも視野に入れた、フィールドミュージアム連絡協議会等を設置したりして、維持管理を実施していくことが望ましい。



## ＜参考資料＞

1. 小城市的遺跡、寺社、指定文化財等一覧表
2. 小城市的無形文化財
3. 小城市的百選と小京都
4. データベースとインターネットの活用例

## 1. 小城市的遺跡、寺社、指定文化財等一覧表

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
1	桜城館	▲		(③ ④)	有	
	祥光山星巖寺	▲	黄檗宗に属し、小城藩主の菩提寺。貞享元年(1684)二代藩主直能が建立をはじめ、翌年落成した。	(② ③)	有	有市 老朽化
2	星巖寺楼門	☆	嘉永5年(1852)竣工。中国式楼門。	(② ③)		無
	石造五百羅漢像	◇	藩主御靈所参道両側に約200体。	(② ③)		無
	肥前小城藩主鍋島家墓所	◆	藩主11代のうち8代の墓所。	(② ③)		有配置図 市
3	須賀神社(祇園社)		延暦22年(803)の勧請で牛頭天王(須佐之男命)を祀る佐賀、小城、杵島の崇廟の神社と古記録にある。元茂公御年譜によると、千葉胤貞九州下向のおり、京都より勧請した祇園社を山上に建立し、後に築いた城を牛頭城と称した。明治の神仏分離令後須賀神社となる。山上の社まで急な階段が特徴である。途中肥前鳥居がある。	(② ③)	無	有神社
4	千葉城跡	▲	千葉氏が築城。記録により牛頭城・牛首城・祇園城・国府城など呼び名が変わる。時期は諸説あるが鎌倉末期には築城されたと思われる。その後千葉氏は分裂し、戦国期には著しく衰退して、竜造寺氏、続いて鍋島氏の支配下となり、千葉城は廃城となった。	(② ③)	無	有ロータリー
	松尾山光勝寺	▲	日蓮宗の九州の本山格にある。千葉氏により14世紀前半頃に創建。一時衰退したが、慶長年間(1596~1615)鍋島氏によって本堂等再建。享保年中に焼失。寛延年中(1748~1751)本堂が万人講により再建されたと伝えられる。寺の裏山は松尾城で境内に妙見社の門(鳥居)と千葉胤貞の墓がある。	(① ② ③)	無	有市
5	仁王門		五間三戸楼門。元治元年(扁額銘)創建。	(① ② ③)	無	有市
	日親堂		日親上人を祭るお堂である。日親上人は当山十四代で中興の祖である。建物は19世紀中期(推定)のものとみられる。	(① ② ③)	無	有市
	光勝寺本堂		本堂は18世紀半ばの建立と伝えられるが、平成13年度報告の『小城町の建造物』報告書によれば記録は確認できていない。高欄擬宝珠金物には享和元年(1801)の銘がある。	(① ② ③)	無	有市

指定 : ●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント（名称）	No.
有 約 40 台	有			桜城館	1
有 約 15 台	有	整備計画はあるが未整備。現在楼門、報恩堂、開山堂、御靈所、五百羅漢が残る。「羅漢の里づくり」	中の整備が行われていないので、整備のための調査が必要か。	祥光山星巖寺	
		鷺ノ原老人クラブで清掃実施。	文化財保護上、周囲をフェンスで囲うが見学には不便。現状ではこれ以上の対策はないが、検討の必要あり。	星巖寺楼門	2
		年数回市で清掃他ボランティアで清掃実施。	風雨による風化と苔が問題か。	石造五百羅漢像	
		年数回市で清掃実施。	墓所入り口の鍵がない。公開を中まで常時行うのか、管理人の下で限定でおこなうのかの検討が必要。	肥前小城藩主鍋島家墓所	
有 約 5 台	駐車場に有	石段に手摺あり。今年の台風により拝殿屋根が損壊。修復済。	境内の石造物調査と整備・保存対策、台風対策が必要。	須賀神社（祇園社）	3
展望台下 有 5 台	有	市教委で調査中、調査後整備計画策定予定。		千葉城跡	4
有 約 15 台	外にはなし	仁王門、本堂、日親堂等は古い。寺内の解説板等は寺が設置。	本堂、日親堂など古い部材の露出部分の痛みあり。寺域の確認と域内の石造物の調査が必要。参道入り口の石柱。復元竜宮門。参道石段など見どころに案内板が必要。	松尾山光勝寺	
		現状ではあまり問題はなさそうである。しかし楼門のすぐ脇を車が往来しており、これがやや不安材料か。	建物の保存対策は特にないが、車道が両側を通り、車止めが必要か。	仁王門	5
		本堂と並び立ち、大寺の雰囲気を醸し出している。雨露が直接あたる部材に痛みが見られるが、現状では特に問題はない。	現状では建物と周辺には問題なさそうである。	日親堂	
		九州にはあまり例のない日蓮宗の大堂であり貴重な建物である。	現状では建物と周辺には問題なさそうである。	光勝寺本堂	

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
6	三間山円通寺	▲	創建は白雉元年(650)といわれ、筑後の三箇村郡司であった三池氏の氏寺として建てられ三箇寺と称し、やがて三間寺と改めた。延暦22年(803)に天台宗の雲海山岩藏寺が建てられ、この頃から平安末まで岩藏寺の末寺となっていた。その後禪寺となり、現称の円通寺となつたのは鎌倉時代初期と考えられる。	(2) (3)	無	有市 老朽化
	木造持国天・多聞天立像	☆	鎌倉時代の木造仏。胎内の銘により永仁2年(1294)大仏師湛幸の作と確認された。			
	円通寺文書	◇	蘭溪道隆が若訥にあてた書簡、千葉宗胤関係の文書のほか、後醍醐天皇・後宇多上皇書状など全13点。			
	千葉氏・蘭溪道隆墓所		蘭溪道隆は南宋の人。寛元4年(1246)来朝。若訥は岩藏寺より当寺に移住し、蘭溪道隆に師事して、弘安元年(1278)禪寺とした。	(2) (3)	無	無
	円通寺大門跡		円通寺大門跡と從是北三間山円通寺之内の石柱が折れた状態で集められている。	(2) (3)	無	無
	千葉宗胤墓所		宗胤が亡くなるときに円通寺門前に葬るよう遺言したため、この地に葬られた。現在の墓石は墓所から移転されている。	(2) (3)	無	無
7	寺浦廃寺塔跡並びに礎石	★▲	奈良時代から平安時代にかけて存在した古代寺院。記録がなく名前も不明。	(2)	無	有
	印鑰社(いんにやくしゃ)		古代の役所の印と鑰を保管していた場所とのつながりが指摘されている。	(2)	無	有
	福海山歡喜禪寺 (本龍院の隠居寺)		寺浦廃寺付近の寺院。参道入り口付近の石造物に江戸期の年号がある。また付近にも板碑等が散在する。	(2)	有	無
	天満宮		寺浦廃寺付近の天満宮。社殿と籠堂、鳥居がある。鳥居の銘文に江戸期の年号がある。また付近にも石造物が散在する。	(2)	無	無
8	茶筅塚古墳	★	市内最大最古の前方後円墳。	(3) (4)	無	有市
9	天山酒造	○ * ▲	明治8年(1875)酒造業を創業。明治、大正、昭和の蔵が並び、現在も操業している。	(1)	無	有県
10	日本福音ルーテル小城教会	○ * ▲	昭和13年(1938)建築。設計は当時の教会関係者といわれ、施工は福岡市の業者。	(3) (4)	無	有市・県
11	深川家住宅主屋・土蔵	○ * ▲	江戸末期の建物で、造り酒屋の店舗の様相を伝える建物である。道路拡張工事に伴い曳家工事を行う予定。	(2) (3)	無	有市・県
12	小柳酒造	○ * ▲	文化年間(1804~1817)の創業とされ、明治から昭和にかけての13件の建造物が登録有形文化財となっている。最も古いものは主屋で江戸後期と推定されている。	(2) (3)	無	有市・県

指定：●国史跡 ○国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
有 約5台	無	墓地はかなり荒れており、墓石の破損もひどい。庫裏は解体され新築中。	特に鍋島家墓所は緊急性があると思われる。寺域の確認調査と域内の石造物分布調査等必要か。	三間山円通寺	6
		修復済。		木造持国天・多聞天立像	
		円通寺にて保存。		円通寺文書	
	無	未整備・荒れている。	墓所の整備と石材保存復元が必要。公開範囲検討の必要あり。	千葉氏・蘭溪道隆墓所	
	無	円通寺大門跡の伝承地には門前に立てられていた石柱が残る。位置は宅地化等で若干動いたと思われる。	現地調査が必要か。	円通寺大門跡	
	無	宅地化されるときに現在地に移された。墓石と従是三間山円通寺之内石碑の近くに改葬されている。	移転前の元位置の調査が必要か。	千葉宗胤墓所	
公民館 前 数台	無	寺浦地区で清掃。現状ではイメージできないほど改変を受けている。	付近に板碑が点在。天満宮、歓喜禪寺がある。周辺の分布調査が必要か。	寺浦廃寺塔跡並びに礎石	7
無	無	高速道路横に位置しており、社の基礎部分はコンクリートであり古くはない。高速道工事により移転。境内に大日様板碑と江藤新平生立の碑石柱がある。	旧状を留めていない。また建物等新しいため問題はないと思われる。	印鑑社 (いんにやくしゃ)	
有	無	建物は比較的新しい。石造物は各所に点在。江戸後期から近代のもの。	寺院の由来と境内外の石造物分布調査と保存と復元のための調査が必要。	福海山歓喜禪寺 (本龍院の隠居寺)	
有	無	建物は近代のものと思われる。鳥居の銘文に宝暦12年(1762)の年号がある。	拝殿、篭堂とも比較的新しいで特に問題はないが、周囲の石造物の分布調査が必要。	天満宮	
有	有	内部主体不明。調査により出土した土器から4世紀後半と推定される。	公園内のため、現状で問題はないと思われる。	茶筅塚古墳	8
有	有	コンサート会場として活用。	現在も酒造場や倉庫として使用されており問題はない。	天山酒造	9
		建物自体が老朽化・修理必要。		日本福音ルーテル小城教会	10
		建物自体が老朽化・修理必要、活用・利用計画策定検討。	18年度屋根修理。19年度曳家工事予定。	深川家住宅主屋・土蔵	11
		煙突修理必要。展示会・コンサート会場として活用。	現在も酒造場や倉庫として使用されており問題はない。只近年台風による被害が出ている。	小柳酒造	12

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
13	村岡總本舗本店 ・羊羹資料館	○ * ▲	昭和 16 年 (1941) 砂糖貯蔵庫として建設され、昭和 59 年 (1984) 資料館に改築された。本店は昭和 36 年 (1951) 建築。有田焼磁器のタイル使用。	② ③	無	有市・県
14	靈験山円明寺	▲	千葉城跡南麓にある天台宗の寺。由緒、寺歴は延宝 7 年 (1679) 以降の住職以外は明らかでない。岩蔵寺の記録によれば末寺として寛保年間 (1741 ~ 1744) 以前にはすでに存在していた。また北肥戦誌によれば、千葉胤朝の時、弟千葉教胤と二派に分裂して争い、文明 2 年 (1470) 11 月 14 日城下一円兵火に包まれ、円明寺も焼け落ちたとある。	② ③	無	有寺
	木造地蔵菩薩半跏像	☆	本像は檜材の寄木造りで、鎌倉時代後期の 1300 年頃前後の作と見られている。		無	有市
	木造薬師如来坐像二躯		室町時代に千葉胤泰が造像。		無	無
15	岡山神社		小城初代藩主元茂と子の直能を祀った神社	③ ④	無	有神社
	松鉄祠		大正時代に作られた元茂殉死者の祠。	③ ④	無	有標柱市
	織部灯籠		近世茶人古田織部が茶道具のひとつとして作ったもの。	③ ④	無	無
	玉成社・武正社		柳生宗矩・十兵衛を祭る。江戸時代のものか。	③ ④	無	有市
	菅ノ井邸 門		小城鍋島家 9 代直堯の別邸の門を移築したもの。	③ ④	無	無
	岡山神社第一鳥居・灯籠	◇	梧竹の書が刻まれる。	③ ④	無	無
16	山辺の道		星巖寺から須賀神社までの遊歩道。	② ③	有	有
17	清水山見瀧寺宝地院	▲	天台宗の寺院で由緒記によると、延暦 22 年 (803) 桓武天皇の勅命で聖命上人が開基した国家鎮護の道場とされる。当時の場所は現在地より山奥にあったとされ、坊中 300 を数えたが、堂宇はことごとく後の戦火に灰燼に帰し、近世鍋島氏により現在地に再興された。	① ② ③	有	有
	見瀧寺縁起絵	☆	光茂の代に奉納された大幅の絵図。再建当時の様子がわかる。			
	観音堂		建立は江戸期寛政ごろ (1789 ~ 1801) の建立と推定されている。向拝は天保ごろ (19 世紀初期) らしい。	① ② ③	無	有
	弁財天堂		建立時期は調査により 17 世紀頃とされる。	① ② ③	無	有

指定 : ●国史跡 ○国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22 世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
有	有	倉庫であったものは資料館として活用。小城本店も店舗として使用中。	現在も使用中のため改変や修理を受けている。現状では問題はなさそうである。	村岡総本舗本店 ・羊羹資料館	13
有 約5台	無	建物は近年改築されている。	周辺の石造物の調査が必要。	靈験山円明寺	14
		秘仏、年1回拝観可能。		木造地蔵菩薩半跏像	
		常時拝観可。		木造薬師如来坐像二躯	
有	有	寛政元年(1789)創建であるが、現在の建物は安政五年(1858)本殿拝殿を東向きに改造。	現状では問題なさそうである。	岡山神社	15
		岡山神社本殿横(南側)に置かれた祠である。	現状では問題なさそうである。	松鉄祠	
		岡山神社本殿横(北側)に祀られた八幡社前にある。他の燈籠に比べ小型である。	現状では問題なさそうである。	織部灯籠	
		岡山神社境内北側に祀られた小石祠が並んで置かれている。	現状では問題なさそうである。	玉成社・武正社	
		神社北口に移築され、修復がされている。	現状では問題なさそうである。	菅ノ井邸 門	
		よく拓本をとりにくる。	銘文の彫りが他の鳥居に比べ深く、現状ではあまり問題なし。	岡山神社第一鳥居・灯籠	
		松尾山までの1kmはほぼ山道だが見るものが少ない。台風のたびに荒れている。また夏場は蝮、熊蜂、冬場はハンターなどの危険がある。安全対策が必要では。	運動公園建設造成跡の対策が必要ではないか。	山辺の道	16
		観音堂、弁財天堂、仁王門、石門などが残る。	参道及び本堂、弁財天堂の山側斜面の崩落の危険性あり。豪雨、台風災害、猪が山の荒れる原因か。	清水山見瀧寺宝地院	17
		県立博物館で保管。		見瀧寺縁起絵	
		建物の裏側及び山側側面が湿気などで痛みがある。また裏山も台風、豪雨でかなり荒れており危険である。	建物の湿気や風化対策と裏山の崩落防止対策が必要か。特に倒木が危険。	観音堂	
		屋根と床下を昭和57年(1982)大改築。しかし全体としては禅宗様仏殿としてよく残っている。	建物自体にあまり陽が当たらない場所にあり、湿気や風化対策と裏山の崩落防止対策が必要。	弁財天堂	

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾ ン	案 内 板	解 説 板
17	仁王門・石門		参道入り口に建ち、大慈閣石門から仁王門と続く。石門は鳥居形で明治18年銘。仁王門は三間一戸八脚門である。建立は19世紀の中頃と推定。	(1) (2) (3)	無	有
	梧竹寄付の碑		参道整備の際に梧竹が寄付した際の記念碑	(1) (2) (3)	無	無
18	松ヶ谷窯跡（二瀬川）		松ヶ谷焼は天和年間（1681～1684）、当地に造られた藩主別邸松香渓茶屋においてお庭焼として開窯した。享保11年（1726）皿山方を置き有田の陶工によって作られた。製品は磁器で染付け、青磁、染付青磁などで主に進物にされたため現存数が少ない。明和・安永期には廃絶したとおもわれる。	(1)		
19	一本松古墳群	◆ ▲	かつて70基以上あったが現在10数基確認。残存した古墳の調査から、5世紀後半から築造を開始し、6世紀前半が空白期をはさみ6世紀後半から7世紀前半まで築造が続いた散在型群集墳とされる。	(1)	無	有
20	土生遺跡	● ▲	弥生前期から後期まで続く集落遺跡。大量の遺物、特に木器、朝鮮系の影響を受けた土器などが出土した非常に特色のある大遺跡である。	(4)	有	有
21	龍王山勝妙寺	▲	日蓮宗。貞治5年（1366）千葉胤泰に伴ってこの地を訪れた日巣によって創建されたと伝わる。	(2) (4)	無	有
	石門 梧竹書		明治28年6月建立の石の山門で、柱の左右に梧竹書が刻まれる。	(2) (4)	無	有
22	金粟山玉毫寺	▲	小城鍋島家の菩提寺。第3代藩主元武開山〔正徳3年（1713）〕当地にあった鳳来寺を岩蔵寺に移し、高城寺の末寺要津庵を当地彦島に移した。翌年完成した。元武は完成前に死去。	(2)	無	有市
	小城鍋島家墓所		3・6・9代の墓所	(2)	無	無
	鍋島元武肖像七幅	☆	法体姿に太刀を置く、天和2年（1682）自題像。			
23	梧竹観音堂	◇ ▲	中林梧竹が明治41年（1908）鳳凰閣とともに建立。現在の堂は台風（昭和24年〈1949〉）により倒壊したものを昭和32年（1957）に縮小して再建したもの。現在は鳳凰閣はない。	(4)	有	有市 老朽化 ・誤字
	雲仙山長栄寺	◇	観音堂菩薩を本尊とする曹洞宗寺院であるが創建時期などは不明である。現在は無住の寺となっている。境内の墓地に中林梧竹の墓がある。	(4)	無	無
24	岡本薬師堂	◇ ▲	薬師如来像が安置されている。胎内に墨書銘があり、天文17年（1548）の年号が入る。境内や参道には石造物が置かれ、参道入り口の六地蔵の銘文には天文元年（1532）の年号が刻まれる。	(2)	有	
	無縫塔（須弥檀式）	◇	薬師堂前の西側に安置された無縫塔。須弥檀式と呼ばれる形式で、1300年代に造られたとみられる。	(2)	有	有市

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
		仁王門、石門ともに問題はないが、周囲に多数の石造物があり、現在も増えつつある。	石造物の多くが山際や斜面などの不安定なところに建つため、対策が必要。	仁王門・石門	17
		参道脇に有り、やや傾いている。	近年の台風と豪雨でかなり参道が痛み、倒れた記念碑もある。	梧竹寄付の碑	
		現在昭和10年(1935)建立の松ヶ谷焼窯跡の石碑がある。		松ヶ谷窯跡(二瀬川)	18
無	無	整備計画はあるが未整備。保存会に年3回除草委託。史跡指定は2、7、8、9、10号墳の5基。「町史跡一本松古墳群整備基本構想」平成7年3月。	古墳個々に説明版と見学順路の整備が必要では。	一本松古墳群	19
	有	住居、高床倉庫が復元された史跡公園。しかし活用されているとはいいくらい。復元住居は内部の構造に問題。ボルト止めされといいる。	吉野ヶ里歴史公園整備以後、見学者が減少。	土生遺跡	20
有 45台	無	本堂は一部改築を受けていり。	墓石がかなり多いが調査の必要有り。歴代住職墓は改修されている。	龍王山勝妙寺	21
		あまり風化していないようである。	現状では問題なさそうである。	石門 梧竹書	
有 約5台	有	山門、石造物多数が寺の裏手に散在。時代幅が感じられる。廃仏毀釈を受けたものか、石塔はばらばらな状態が多い。	石造物の分布調査と保存と復元のための調査が必要。	金粟山玉毫寺	22
無	無	荒れている。	墓所内外の保存整備が必要。墓所であるため公開範囲の判断が必要。	小城鍋島家墓所	
		痛みあり。修理必要。県立博物館で保管。		鍋島元武肖像七幅	
無	無	台風で破損。道が狭く駐車スペースもない。ウォーキングコースとしてあるが途中が長く交通量も多く危険。	18年度に屋根修理予定。	梧竹観音堂	23
有	無	田園の中にあり道はわかりにくい。寺は無住であり他の寺が管理している。	梧竹墓以外に石造十二地蔵(市重要文化財)等石造物が多く保存管理に注意が必要。	雲仙山長栄寺	
有 約2台	無	地区に清掃委託。	参道入り口の六地蔵は風化が見られ対策が必要。薬師如来像の保管管理・夜間警備に検討が必要。	岡本薬師堂	24
		地区に清掃委託。塔は完全な形で保存されており、基礎部分にも問題はない。	無縫塔に苔や風化による表面の劣化が見られる。	無縫塔(須弥壇式)	

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
25	生立ヶ里八幡神社	◆	肥前鳥居は慶長17年(1612)建立。願主・持永助左衛門茂盛(茂成)。	④	無	有市
26	権現山前方後円墳	★ ▲	標高約100mの権現山頂部に築かれた前方後円墳で全長約50m。未調査のため内部主体は不明。墳丘上表採の埴輪片、須恵器片から6世紀後半の築造と思われる。	① ②	無	無
27	姫塚	★ ▲	前方後円墳。全体的に土取りで変形。特に後円部は半分が失われている。墳形や石室の形態から6世紀築造と推定されている。	②	無	有市
28	円山古墳	★ ▲	円墳。調査時すでに盗掘を受けていたが、副葬品多數が残されていた。築造は出土遺物などから5世紀後半と考えられる。	②	無	有市
29	高田保馬博士生家		九州帝大・京都帝大などで教授をつとめ、社会学者・経済学者である傍ら歌人として歌集3冊を著す。	④	有	無
30	久蘇遺跡		弥生時代中期を主体とする集落遺跡。弥生草期から中世・近世の遺構、遺物が出土した複合遺跡。	④	無	無
31	姫御前古墳	▲	鏡山山頂付近の尾根上に築造された封土径25mの円墳で単室両袖型横穴式石室を内部主体とする。早くから開口し遺物の有無は不明。石室内部に弁才天が祭られている。	②	有地元	有標柱
32	医王山三岳寺	▲	永仁年間(13C末)に天台宗三津寺として開山、薬師の靈場であったが、中世末には衰退し、慶長年間(16C末~17C初頭)鍋島直茂・勝茂によって医王山三岳寺として再興。	②	無	有寺
	木造薬師如来坐像	☆	楠材寄木造の玉眼嵌入、漆箔仕上げ。製作時期は鎌倉後期と推定される。		無	無
	木造大日如来坐像	☆	楠材寄木造の玉眼嵌入、漆箔仕上げ。製作時期は鎌倉後期と推定される。		無	無
	木造十一面観音坐像	☆	楠材寄木造の玉眼嵌入、漆箔仕上げ。製作時期は鎌倉後期と推定される。		無	無
	閑室元信画像	☆	没年の慶長17年(1612)頃の作と推定される。京都円光寺画像と寸分違わない。		無	無
	三岳寺文書	◇	全127点。文書は中世三津寺時代の寄進状、近世初頭の書状など。		無	無
	坐毬	☆	舶載品キルト刺繍が用いられた座具で、裏面に墨書きで慶長10年(1605)施入した4枚のうちの1枚と判る。		無	無
33	牛尾神社	▲	延暦15年(796)桓武天皇の勅宣により創始したと伝わる古社である。	②	有	有
	肥前鳥居	☆	慶長二年銘(1597)と寛文元年銘(1661)の2基の肥前鳥居がある。慶長二年銘の鳥居は県内の肥前鳥居の中でも古いほうである。	②	有	有
	梅林	▲	牛尾山一帯の植えられた約1万3000本の梅の木。花の見頃は2月中旬~3月上旬。	②	有	無
	六地蔵		天文22年(1553)銘があり地元ではいぼ取り地蔵と呼ばれる。	②	無	有標柱

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
無	無	園場整備により参道がなくなっている。道が狭くどん詰まりとなつており車での接近は難しい。	肥前鳥居銘文が風化により読みにくくなっている。	生立ヶ里八幡社	25
		わかりにくい。県から地区に清掃委託。		權現山前方後円墳	26
無 公民館有	無	わかりにくい。県から地区に清掃委託。周囲が果樹園で見学するのも難しい。荒れている。	周囲の整備と見学路設置の必要有り。横が果樹園のため無用のトラブルの原因となりうる。石室奥壁の盗掘抗修復の必要あり。	姫塚	27
無	無	周囲がひらけており遠くから見えるので古墳と認識しやすい。墳丘が一部破壊を受けている。	墳頂部の石材が破壊の跡のようである。	円山古墳	28
無	無	敷地内への立ち入りはできない。	個人所有。	高田保馬生家	29
無	無	園場整備等により景観も変わっている。	埋め戻されて耕作地となつている。	久蘇遺跡	30
無	無	崩壊寸前のため立入は危険。17年度に調査。平成18年度に写真図化。	天井崩落の危険あり。安全対策最優先。	姫御前古墳	31
有	無	寺による管理がされている。墓地以外の石造物はあまりないようである。	貴重な資料は全て寺院内に収蔵されており保存管理には注意がはらわれている。	医王山三岳寺	
		修復済。 拝観可。		木造薬師如来坐像	32
		修復済。 拝観可。		木造大日如来坐像	
		修復済。 拝観可。		木造十一面観音坐像	
		修復済。		閑室元信画像	
		県立博物館にて保管。		三岳寺文書	
有 約15台	有	建物、境内は良いが、参道の階段の整備と、金毘羅社や坊跡が荒れ果てている。	参道と周辺の調査と整備が必要。特に石造物関係の調査と保存が急務。	牛尾神社	33
		現状では大きな問題はなさそうであるが、表面の風化がみられる。	風化と苔の付着対策が必要。	肥前鳥居	
有 28台	無	栽培果樹園のためあまり周辺景観にはこだわっていないようだ。	栽培農家との調整を図りながら、周辺景観の整備と景観ポイント選定が必要か。	梅林	
無	無	地蔵の辻とよばれる場所であろうか。霧囲気は良いが銘文がうすれている。	六地蔵の風化防止対策が必要。覆屋をつけると景観が変わるが、検討の必要有。	六地蔵	

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
34	天満神社（米ノ隈）	◆ ▲	栗原にある天満宮。鳥居は銘文に安政5年(1858)とあり、撰文は橋本温、書は中林和、石工は平川貞十である。中林和は中林梧竹のことである。	(2)	無	有市
35	牛津赤れんが館	○ * ▲	煉瓦造り2階建て構造で築造時期は明らかではない。牛津町の代表的商家で、玉屋デパートの前身田中丸商店の倉庫として建てられた。専門家の調査により明治中期から後期に建設されたと考えられる。	(5)	無	有市・県
36	牛津町会館	○ * ▲	九州財界人として著名な玉屋デパートの創始者の、田中丸善蔵の邸宅として建設。建築の時期は不明だが、田中丸商店で働いていた人の証言によれば、明治末期頃と考えられる。	(5)	無	有市・県
37	廣巖山寶積寺 六地蔵塔	▲ ◇	三間山円通寺の末寺とされる。臨済宗南禅寺派。廣巖山あるのは同地に昔天台宗の広巖庵があつたため、広巖山ということ。開基は不明だが、二世和尚没年が天文4年7月(1535)とあるので、約五百年前に創建されたと思われる。 天文6年(1537)銘。牛津町内にある肥前六地蔵塔の中でも最も古い時代のもの。	(5)	無	無
38	長崎街道	▲	全体を歩くより、3つくらいに分けての散策がよい。	(2) (5) (6)	無	駅前に有
	乙宮社と資料	◇ ▲	乙宮社社職西川三河正義暉が記した日記19点、由緒書、乙宮社由緒並掛宮附、絵図、巻物あわせて40点。	(5)	無	有
38	護城山正満寺(本町)	▲	脇本陣。浄土真宗西本願寺派。釈明善の開基で約三百年前という。現在の御堂は明治15年ごろの建築らしい。	(5)	無	無
	正満寺 久本家墓所 梧竹書		梧竹書の石門がある。	(5)	無	無
	西宮社(江津)		小城鍋島藩主2代直能寄進の一の鳥居、同10代藩主直堯寄進の石門がある。鍋島家と関わりが深い。	(5)	無	有市
	町屋 新町 光岡家住宅		明治の建築。	(5)	無	無
39	空山観音三十三体石仏	◇	江戸時代中期元禄9年から15年頃(1696~1702)に製作されたもの。当時の砥川石工の技術と信仰を知る上で貴重な資料である。	(2) (6)	有	有
	空山観音堂 (巨福山観音堂)		江戸時代前期の建立。長勝寺奥の院とされ、平重盛が治承年間(1177~1181)建立の伝説をもつ。堂内には平安期製作と見られる木造仁王像が依存しているが風化が著しくほとんど形をなさない。	(2) (6)	無	無
	巨福山長勝寺	▲	臨済宗南禅寺派寺院。開山は蘭溪道隆(大覚禪師)と伝えられるが、鎌倉時代にはすでに存在していたといわれ、大覚禪師は錫を留めた場所と伝える。当寺は巨刹であったらしいが、戦国期に幾度となく兵火にかかり衰微した。このため周辺に各種石造物が点在しているが、遺構は蜜柑園の造成でわからない。	(2) (6)	有	無

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
有 約1台	無	鳥居と石造物(板碑?)。社は新築されている。	特にはないが、鳥居の石材風化が見られる。	天満神社(米ノ隈)	34
		平成17年度修理工事を実施。		牛津赤れんが館	35
		現在も牛津町会館として使用。		牛津町会館	36
無	無	建物には古さはない。ただ寺院内にも板碑など古い石造物が多く見られる。	中の石造物に関しての調査が必要か。	廣巖山寶積寺	37
無	無	門前にあり一部欠損が見られる。また調査でも銘文に判読できない部分が見られ、風化が進行している。	現在も門前にあり風化対策はない。	六地蔵塔	
無	無	道路整備と再開発によりほとんど面影がない。牛津江川を渡ってから34号線との合流地点までの間に古い民家が残っている。	建物の古いものは少ないが、雰囲気は一部に残っている。	長崎街道	
無	無	市で解説作業がおこなわれた。江戸時代後期の牛津宿等がわかる資料である。建物は九州産業大学で調査。	拝殿が台風被害を受けているので修理が必要。また境内の石造物の整備も必要。	乙宮社と資料	
無	有	大幅改造、江戸期の遺構なし。	長崎街道沿線の商店から直接参道へ入る。石畳と正面の寺の建物で異次元空間。	護城山正満寺(本町)	38
無	無	現在は知っている人しか訪れないでの、案内板と説明板が必要と思われる。	現在の状況は良好である。	正満寺 久本家墓所 梧竹書	
無	無	境内と周辺が荒れているため整備が必要。		西宮社(江津)	
無	無			町屋 新町 光岡家住宅	
無	無	覆屋あり。製作時期が確認できるものが、33体中14体ある。	覆屋があるため風化がかなり防げる。	空山観音三十三体石仏	
無	無	18年度九州産業大学調査。老朽化が進む。参道と周辺が荒れている。	参道の修復と(一部は道路による切断で修復不可)周辺の石造物調査が必要か。	空山観音堂 (巨福山観音堂)	39
有 10台以上	有	建物は新しいが、多数の石造物がある。特に六地蔵の樟石にも地蔵が彫られているものなど珍しいものがある。	周辺には空山観音堂、彦山権現などあるので整備が必要か。案内板も石製の物で小さく徒步の者には見えるが、車だとわかりにくい。	巨福山長勝寺	

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開拓と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
39	木造薬師如来坐像	◇	本像は檜材の一木造り。像高 9.0 cm の小品であるが、的確な彫刻技術が認められ、優れた出来栄えをみせる。14世紀代の作風を顕著に示しており貴重である。		無	有
	絵馬	◇	競馬図絵馬。本来は空山観音堂に奉納されたものを、盗難防止のため長勝寺本堂に移したもの。銘文末尾に書かれた製作年代は正徳元年(1711)。現在県内最古の絵馬である。		無	有
	英彦山権現社（空山） 山神社（巨福山）		鍋島藩二代光茂の信仰が厚かった。万治元年(1658)参拝のおり、社殿が疎略であり、また城の西方にあたっていたので、万治四年(1661)までかけて神殿・拝殿・鳥居などを造営した。また山神社も巨福山麓に祀られ、末社として7社が麓から山頂にかけて点在している。寛政4年(1792)寛政5年(1793)文化13年(1816)などで、いずれも小さな石祠であり、長勝寺の僧による建立である。	(2) (6)	有	有
40	廣巖山常福寺	▲	臨済宗南禅寺派寺院。本堂に本尊薬師如来を安置し、奥の院には弘法大師を祀っている。このことから元は真言宗であったと思われる。国指定木造仏や石造物多数を有し、石工平川家の墓所がある。	(2) (6)	有	有市
	木造薬師如来坐像	◎	当寺の本尊で様式的には平安時代前期の様式を残しながら、平安末期の技法の兆しを見られる。		有	有市
	木造帝釈天立像	◎	平安時代前期の技法の特徴を備えるが、所々に時代の下降が見られることから平安中期と推定されている。		有	有市
	石造如意輪観音菩薩半跏像	◇	平川与四右衛門作の石像。享保21年(1736)製作。		有	有市
	石造地蔵菩薩坐像	◇	元禄2年(1689)の記年銘。作者不詳であるが、平川与四右衛門、平川徳兵衛が活躍した時期と重なる。		有	有市
41	平川与四右衛門墓		牛津町砥川地区(旧砥川村)の石工の墓。	(2)(6)	有	無
	石切場跡		砥川石工が切り出した石切場跡あと。	(6)	有	有
42	吸江山永福寺	▲	旧長崎街道沿いに所在する臨済宗南禅寺派寺院。小城町三間山円通寺の末寺。開山は南北朝正平年間(1346~1370)と伝わる。	(5) (6)	無	無
	石造如意輪観音半跏坐像	◇	美術工芸品として県内の残る近世石像仏の代表的作品として評価されている。		無	有市
	石造菩薩半跏像	◇	平川与四衛門銘が入る石仏の中で最も古いものである。製作年は享保21年(1736)。		無	無
43	大天満神社（小路）		創建は建暦・建保年間といわれ芦刈町域では一番古い社である。千葉氏をはじめ、鴨打、徳島、持永、南里、神代氏など歴代領主が崇敬した郷社である。	(7)	無	有

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント（名称）	No.
有	有	長勝寺内に安置され、厨子に納められる。		木造薬師如来坐像	39
有	有	現在長勝寺本堂内に額をつけガラスが張ってあり風化退色はかなり防げる。奉納時の形態は失われている。		絵馬	
有	無	現在は鍋島氏によって建立された建物はなく、小さなお堂と石段、石仏、石造物が残るだけである。特に山神社には鍋島勝茂が寄進した地蔵菩薩、3体があり覆い屋があるが、非常に痛んでいる。また石段も痛んでおり、特に道路より下の石段が痛みがひどく、土砂や木の葉、枯れ枝などで埋まつた個所があり歩きづらい。	周辺の道路は狭いので、長勝寺からの道よりも、グリーンパークからの道がよい。英彦山宮は整備されているが、山神社は参道石段などは整備されず荒れるに任せている。境内には地蔵菩薩立像以外にも石灯籠や石造物が散在しているので、建物跡と共に調査が望まれる。また石造物は小さな狛犬があり防犯対策も必要。	英彦山権現社（空山） 山神社（巨福山）	
有 約5台	有	寺内に多数の文化財。国指定の木造仏などは収蔵庫が作られ保護されている。また石造物も多数あり、境内各所に散在する。	国指定木造仏、指定を受けた石造物に関しては保護の手段が講じられている。	廣巖山常福寺	40
		収蔵庫内に安置。	定期的に点検、整備が行われている。	木造薬師如来坐像	
		佐賀県立博物館にて保管。	定期的に点検、整備が行われている。	木造帝釈天立像	
		鬚と右手首を欠失しているが、全体的な保存状況は良い。	屋根があり、直接雨水はかからない。	石造如意輪観音菩薩半跏像	
		風化や人為的損壊をうけておらず保存状況はよい。	屋根があり、直接雨水はかからない。	石造地蔵菩薩坐像	
		平川家墓域内に立っている。	個人墓で指定はない。	平川与四右衛門墓	
有 5台	無	道幅が狭く、道路状況が悪いため危険個所多数。展望が良いので視界を確保する必要あり。現状では乗用車での乗り入れは薦められない。	石切り場として石の露頭があるだけ、もっと加工した箇所の説明が必要である。	石切場跡	41
有	無	34線沿いで分かりやすい。境内には多数の石造物がある。	指定物件に関しては、屋根がつけられている。	吸江山永福寺	42
		本堂内に安置。		石造如意輪観音半跏坐像	
		右手首次失し風化による表面剥離がある。現在覆い屋のなかにある。	風化防止対策が必要。	石造菩薩半跏像	
有 約10台	無	本殿、拝殿は新しいが、四脚門と肥前鳥居は江戸期のもの。また境内の石造物が多い。多くは江戸後期のもの。	石造物の調査と銘文、記年銘の調査が必要。鳥居は風化防止対策。	大天満神社（小路）	43

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開拓と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
43	四脚門	◇	四脚門は一門一戸で屋根は切妻本瓦葺き。扉は欠失。建立時期の記録はないが、彫刻や建築の様式から江戸中期と推定されている。	(7)	無	有
	肥前鳥居	◇	寛永5年(1629)領主神代対馬守平朝臣常氏等の銘が彫られている。	(7)	無	有
44	乙宮社(中溝)		鴨打氏館跡。地頭鴨打陸奥守胤忠が天文5年3月(1536)勧請した。	(7)	無	有
45	小城駅舎	▲	明治36年開設時の駅舎。外観は屋根、戸口などが改変を受けている。	(3) (4)	無	無
46	晴気城跡		千葉氏築城。周辺に千葉氏関係の遺跡が多い。	(1)	無	無
47	松尾城跡		千葉氏の築城。松尾山光勝寺後方の山に築城。肥前叢書には明徳4年(1393)千葉胤基居住とある。光勝寺は文保年中(1317~1319)に千葉胤貞下向したおり一宇を建立した所。	(1) (2) (3)	無	無
	妙見社(松尾)		松尾城内の東の郭内。千葉氏により勧請されたと思われる。	(1) (2) (3)	無	無
48	赤司(目)城跡		千葉氏館跡の推定地。しこなに赤司館がある。	(2)(4)	無	無
49	平井館跡		千葉氏の館跡で、周辺の調査で中世の遺構が検出されている。	(4)	無	無
	長教山修善院		平井村矢作屋敷に移転と解説板にある。	(4)	無	有
50	持永城(牟田)跡		今川氏が土着して持永氏を名乗る。南北朝期に今川了俊が生立ヶ里付近に拠点を置いたと伝えられる。	(4)	無	有市 老朽化
	葉王山清泉寺		牟田城(後持永城)に居住した今川九郎国秋が菩提寺として創建。15世紀初頭。臨済宗南禅寺派。	(4)	無	無
51	高田城跡		大塚氏館跡。場所はほぼ特定されているが、遺構はほとんど残っていない。大塚氏は宇都宮姓。	(4)	無	無
	香雲寺(遠江)		永禄4年(1561)宇都宮遠江守貞宗開基である曹洞宗寺院。	(4)		
52	牛尾城跡		千葉氏築城。推定地であり正確な位置は確定していない。	(2)	無	無
53	阿蘇惟直碑		多々良浜の戦い(1336)の後、小城にて自刃した阿蘇惟直の墓と伝えられる。	(1)	無	有

指定 : ●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
		平地のため風除けがない。周辺に木がなく風を直接受ける。	四脚門の保存対策と台風の対策が必要か。	四脚門	43
		肥前鳥居は昭和46年(1971)調査時から一部銘文が読めないところがあった。現在も風化が進む。	石造物の調査と銘文、記年銘の調査が必要。鳥居は風化防止対策。	肥前鳥居	
有 約5台	有 使用は 困難	永林寺の隣り。社自体は江戸期のもの。本殿床下に洪水対策の重石有り。参道の石橋。寺との境の堀にも石橋が架かる。	平成18年度九州産業大学建物調査。	乙宮社(中溝)	44
有	有 やや問題あり	県内数少ない現役の木造駅舎。小京都小城の玄関口として周辺建物の修景の必要。	一部改築、修理がされており、完全なオリジナルではないが、貴重な木造駅舎である。	小城駅舎	45
無	無	遺構の保存状況は良い。	アクセスがない。	晴気城跡	46
光勝寺 駐車場	無	遺構の保存状況は良いが、台風による倒木が多く、倒木の根による隆起と根穴により、山全体があれています。	遺構の保存状況は良いが、一部近世に墓所として使用され改変を受けている。また近年の倒木による隆起部分が土砂流出し、崩落の危険性有り。	松尾城跡	47
光勝寺 駐車場	無	建物は近年新築されている。手洗鉢破損。石段は享保5年5月石工は平川二左衛門。北側に山王権現の石製祠。宝暦12年正月。	建物は問題ないが、周囲の石造物がかなり散乱。	妙見社(松尾)	
無	無	園場整備により地形は改変を受けている。	園場整備などでまったく痕跡が分からぬ。	赤司(目)城跡	48
無	無	住宅地と寺院境内。現状では確認はできない。	館跡としての推定地の域を出ない。平成17年度確認調査で中世の堀跡確認。	平井館跡	49
無	無	江戸期に松尾山院下本寺修善院が当地に移る。境内周辺に石造物が多数存在する。	境内に古い石造物があり調査の必要あり。	長教山修善院	
無	無	荒れている。各所に高まりが残っている。現在周辺の開発が進んでいる。	遺構は確認されない。また園場整備と宅地化が進行しているので早急な調査が必要か。	持永城(牟田)跡	50
有	無	古い墓石は集積されており、判読不能。寺院は近年建て替えられていると思われる。	持永氏の近年の墓石は分かるが、古い墓石は分らない。調査が必要か。	薬王山清泉寺	
無	無	ほとんど遺構がなく、わずかに掘割が残る。城跡との関係は不明。	遺構は確認されない。また園場整備により旧地形が失われ確認は困難。	高田城跡	51
		周囲の城館遺構は確認されない。また園場整備により旧地形が失われ確認は困難。		香雲寺(遠江)	
有	無	場所特定できず。果樹園造成時に地形が大きく改変を受けている。	改変が大きく遺構の確認は不可能か。	牛尾城跡	52
		天山社上宮駐車場から山道を約30分。体力が必要。	大正13年(1924)晴田村青年会において改築したもの。	阿蘇惟直碑	53

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開拓と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
54	丹坂峠古戦場		有馬氏の肥前東部進出が挫折し、竜造寺氏が有馬氏を圧倒するきっかけのとなった合戦。永禄6年(1563)。	②	無	無
55	山崎観音堂(垂井観音堂)		平安時代の聖観音像・天部像。	②	無	無
	小城公園	▲	岡山神社旧神苑と桜岡公園を合わせて昭和26年(1951)に成立。園内に多数の文化財がある。	③ ④	有	有
56	小城藩邸正門前の石橋		小城藩邸の正門前にかかっていた石橋。	③ ④	無	有市 老朽化
	馬責馬場跡		小城藩士たちの乗馬の稽古をおこなった場所で、興譲館と藩邸の間にあった。	③④	無	無
	興譲館跡		小城藩の藩校。天明七年(1787)開設。設立には本藩の弘道館設立が影響したと思われる。	③④	無	有
	武家屋敷群		小城藩士の屋敷が市内に点在している。	③ ④	無	無
57	葉王寺家		西小路	③④	無	無
	星野家		西小路	③④	無	無
	鍋島家		西小路	③④	無	無
	大坪家		北小路	③④	無	無
	大手町の町屋群		町人の居住した小路沿いの町屋群。	③ ④	無	無
58	真子家住宅		江戸時代後期	③④	無	無
	岸川家住宅		明治初年	③④	無	無
	旧伊万里実業銀行小城支店		大正年間	③④	無	有
	井手家住宅		昭和初期	③④	無	無
59	老松山遺跡		旧石器時代。同地に産する安山岩を用いた石器が昭和48年(1973)竹山尚賢氏により報告された。昭和59年~60年(1984~85)九州横断自動車道工事に伴い調査され多数の石器が確認された。現在高速道路が通っているが、遺跡主体は老松山の斜面部のため破壊を免れている。	②	無	無
60	佐織遺跡		佐織神社と三日月中学校の間の南北300m東西200mの範囲が想定される遺跡である。出土遺物から弥生早期から前期にかけての集落遺跡であり、佐織神社東部の調査では甕棺墓と壺棺墓が14基確認された。	④	無	無
61	石木中高遺跡		弥生早期から中期にかけての集落遺跡。土偶、木製品、縄文系に属する土器など豊富な遺物が出土。	④	無	有
62	丹坂峠古墳		横穴式石室を内部主体とする封土径21mの円墳である。内部より副葬品として、変形文鏡、ヤットコが出土。	②	無	有

指定 : ●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
無	無	近世の石造物多数散在。破損は進行している。近世の切り通し道が残っている。	合戦場の地形はかなり改変を受けているので地名などで図上復元を検討し、説明板の展示などが可能ではないか。	丹坂峠古戦場	54
有 約10台	無	拝観不可。石造物多数あり。牛尾山の法華経塔と同形あり。修験道の一部。	建物と周辺石造物の調査が必要か。	山崎觀音堂(垂井觀音堂)	55
有	有	公園内に多数の文化財が点在している。石碑などに解説文のないものもある。石造物が多いが管理されていないものもある。	現在公園として管理されておりあまり問題はなさそうである。	小城公園	
公民館	無	現在は公民館前の駐車場内にあり、車の往来でかなり痛みが出ている。	現在、車道の一部となっており対策の必要あり。	小城藩邸正門前の石橋	56
		現在は馬場の痕跡はなく、アスファルトで舗装され、通学路となっている。	現在は遺構として存在しない。	馬責馬場跡	
無	無	現在の桜岡小学校一部がその跡地。	小学校敷地内であり、遺構も残っていない。	興譲館跡	
無	無	個人住宅のため内部の現況は不明などころが多い。また小路沿いに積垣があるところは武家屋敷跡か。	個人住宅のため保存が困難。小路沿いに積垣を整備するなどの修景が可能か。	武家屋敷群	
無	無	無人のため老朽化。	修復が必要。	薬王寺家	57
無	無	住宅のため拝観不可。	修復が必要。	星野家	
無	無	住宅のため拝観不可。	修復が必要。	鍋島家	
無	無	無人のため老朽化。	修復が必要。	大坪家	
無	無	古手の建物が少なくなっているが、昔の風情を残している。	静かなたたずまいの小路であり、若干の修景ができればもっと文化財が生きるのではないか。	大手町の町屋群	
無	無	老朽化。	修復が必要。	真子家住宅	58
無	無	住宅のため拝観不可。	修復が必要。	岸川家住宅	
無	無	住宅のため拝観不可。	修復が必要。	旧伊万里実業銀行小城支店	
無	無	老朽化。	修復が必要。	井手家住宅	
無	無	蜜柑園の開発により、周辺に多数のサヌカイトの石材が散乱。石器も含まれる。	現状では地表に現れた石器の収集が必要ではないか。	老松山遺跡	59
		現在、水田、宅地、学校などである。また圃場整備で旧地形も残っていない。	現況では遺跡が分からぬ。	佐織遺跡	60
		調査地は開発で残っていないが、周辺には同様の遺跡が包蔵されている。	この地域は土生遺跡と久蘇遺跡に隣接しており、一体の集落かもしれない。	石木中高遺跡	61
無	無	横を唐津往還の切り通しの道が通っている。		丹坂峠古墳	62

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
63	川越城跡（広厳城）		千葉氏が有馬氏の侵攻に備え築く。八幡山砦は川越城の出城で、両城で有馬の軍勢を阻止する計画であったが常に突破されており、城主は固定されていない。	② ⑤ ⑥	無	無
64	八幡山砦跡		頂上部主郭と思われるところに八幡社がある。周囲には城郭を思わせる平場がある。また堀切状の切り通しがある。一部永福禅寺境内墓所となっている。	⑤ ⑥	無	無
65	芦刈城跡（中溝）		道昌山永林寺。鴨打氏館跡。永林寺は萬治元年（1658）開基。曹洞宗佐賀市高伝寺末寺。鴨打城跡に創建されたと伝えられる。	⑦	無	有
	芦刈城跡（中溝）		乙宮社。鴨打氏館跡。地頭鴨打陸奥守胤忠が天文5年3月（1536）勧請した。	⑦	無	有
	芦刈城跡（中溝）		錦鏡山宝泉寺。鴨打氏館（城）の一部か。宝泉寺は永禄年間（1558～1569）創建。鴨打氏墓所。鴨打城跡と伝えられる。	⑦	無	有
	芦刈城関連		瀬川神社。社殿、鳥居とも新規のもの。	⑦	無	有
66	徳島城跡 (浜中陣の森城跡)		徳島氏館跡。所在不詳であるが町史編纂当時（昭和49年）の古者の話では県道より浜中の集落入り口付近の道端に土饅頭型の塹があり、石仏石塔を祀ってあり、つき山観音と呼び、村人がまつる靈地があり、これが城跡ではないかという。また浜中東境の芦溝字二本柳に徳島堀の地名が残る。	⑦	無	有
	徳島城跡 (浜中陣の森城跡)		大雄山報恩寺。当寺は元禄年間（1688～1703）の創建で直接徳島城に関連はないが、徳島堀からみて位置的には城外か。	⑦	無	無
67	徳島城跡 (小路字松瀬付近)		徳島氏館跡。陣の森城跡。昭和54年（1979）園場整備に伴う発掘調査で建物跡など大規模な館跡が確認された。しかし調査範囲は1000m <sup>2</sup> であり、全容の確認までは至っていない。	⑦	有	有
	徳島城跡 (小路字松瀬付近)		鶴鹿山福田寺は徳嶋孫八郎盛秀夫人阿福が孫八郎死後夫と先祖供養のため筑前南林寺四世英祝和尚を請して永禄二年（1559）開山。	⑦	有	有
	神代館跡（小路）		福田寺他。江戸期に入り小路、浜中、三条の一部が川久保の神代氏の領地となる。神代館跡は現在の字名が神代として残る場所と思われる。福田寺を菩提所として一族が帰依した。	⑦	有	有
	内砥川八幡社	▲	千葉胤貞が勧請したと伝える。軍功として晴気荘を所有し、蒙古襲来で小城に下向した千葉氏が信仰と深く関わった地域支配の形をとったものか。建立時期は不明。	⑥	無	有市
68	肥前鳥居 一の鳥居	◇	銘文によれば、白石鍋島氏2代直堯が勧請して寛文2年（1662）建立と思われる。	⑥	無	有市
	肥前鳥居 二の鳥居	◇	3つの鳥居の中で最大の大きさで、一の鳥居より15年古い正保4年（1647）と銘文にある。	⑥	無	有市
	肥前鳥居 三の鳥居	◇	3つの鳥居の中で最も神社社殿のそばに立ち、最も古いと思われるが、銘文が剥落し時期は不明である。	⑥	無	有市

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
		寛永年間(1624～1644)に常福寺三世清岩和尚が城跡を買収して墓地をつくった。		川越城跡(広嚴城)	63
無	無	34号線拡幅工事によりかなり面積が縮小。堀切が道路となっている。	神社と墓地によりかなり改変を受けており、縄張り調査の必要有り。	八幡山砦跡	64
有 約5台	有	周囲は圃場整備による改変を受けており範囲不明。	境内もかなり改変されているので確認は困難。	芦刈城跡(中溝)	
有 約5台	有 使用は困難	永林寺の隣り。社自体は江戸期のもの。本殿床下に洪水対策の重石有り。	拝殿、本殿ともに修復の必要有り。	芦刈城跡(中溝)	
有 約5台	有	鴨打氏一族墓がある。但し、圃場整備により移動している。	墓石の調査と旧墓所の調査が必要か。	芦刈城跡(中溝)	
有 約3台	無	圃場整備により移動させた神道系の石造物が集められている。神社自体は芦刈城域外と思われる。	石造物の調査と銘文、記年銘の調査が必要。	芦刈城関連	
無	無	田圃と住宅地。塚状に土を盛り古い石仏石塔が祀られたつき山観音や徳島堀などの地名が残るが、堀などは圃場整備により消滅し、直線的な水路となっている。城郭の範囲は不明。	圃場整備により遺構の確認は困難。旧地形図と古い航空写真等による検討が必要か。	徳島城跡(浜中陣の森城跡)	65
有 20台	有	徳島城跡推定地付近にあり、墓所に古い墓石がある。	境内の墓石等の確認調査が必要。	徳島城跡(浜中陣の森城跡)	
有 約10台	有	圃場整備前は畠地として微高地が残りここ一帯を珍の山と呼んでいた。現在は一面水田となり、旧状を留めない。	圃場整備により遺構の確認は困難。旧地形図による検討と、古い航空写真での検討が必要か。	徳島城跡(小路字松瀬付近)	
有 約10台	有	福田寺は徳島家の墓所。徳島氏一族の墓石が並ぶ。後の領主神代氏の墓所もある。	福田寺境内の墓石等の確認調査が必要。	徳島城跡(小路字松瀬付近)	
有 約10台	有	福田寺には神代家、徳島家の墓所がある。館は神代館跡の説明板の南側公園内とその周囲である。	境内の墓石等の確認調査が必要。	神代館跡(小路)	66
無	有	古い籠り堂がある。また境内内外にも石造物が多くあり、特に肥前狛犬が15個体あり。	神殿と拝殿は現状で問題なからう。籠り堂が古く修復が必要か。肥前狛犬の盗難の恐れが有り、対策が必要。	内砥川八幡社	
		参道入り口にある。参道は車道として使用されるためすぐ脇を車が通過する。	車止めなど何らかの保護策が必要では。	肥前鳥居　一の鳥居	67
		参道階段前にあり直接車は通らないが、風化は苔などにより進行している。	風化対策が必要か。	肥前鳥居　二の鳥居	
		境内内にあり表面の風化は最も進んでいる。	風化対策が必要か。	肥前鳥居　三の鳥居	

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾーン	案内板	解説板
68	とんさんみち		唐津往還の一部。多久の殿様が佐賀へ往復のときに用いたためこの名がある。	② ④	無	無
69	修験道		牛尾神社、丹坂峠経由	②	無	無
70	住之江港		石炭などの搬出港。近代までは外国船の入港があった	⑦	無	無
71	見明寺		千葉氏ゆかりの寺、平安時代の仏像。小城町西晴気。	①	無	無
	妙見社 肥前鳥居		千葉氏ゆかりの寺、見明寺隣り。妙見社は千葉氏が崇敬した神社。現在の社は19世紀中期のものを昭和43年(1968)大改築したもの。	①	無	無
72	鏡神社		藤原広嗣を祀る。天平17年(745)勅使真吉備朝臣社殿二宇を建立、同19年(747)勅符により神靈を祀る。勝宝6年(754)尊号を鏡尊廟と授けられた。現在平安仏が残る。	②	無	無
73	織島神社の楠	□ △ ▲	樹齢約600年。幹周り6.3m。	②	無	有
	勝妙寺の銀木犀	□ △ ▲	幹周り2.8m。	② ④	無	有
	淀姫宮の楠	□ △ ▲	幹周り6.0m。	④	無	有
	千代雀の楠 (古川酒造)	□ △ ▲	幹周り4.0m。 古川酒造は明治元年に創業。昭和32年に会社設立。代々古川家が継ぎ4代を数えたが、現在は廃業。	④	無	有
	五条天満宮の楠	□ △	幹周り3.5m。	④	無	有
	七星宮の楠	□ △	幹周り5.7m。	④	無	有
	甲柳原天満宮の楠	□ △	推定樹齢300年。天満宮は江戸時代の小城郡北郷図によると、現在地に天神と記され神殿一棟が建てられている。鳥居の記年銘は明治36年、狛犬一対は明治40年、改築記念碑には昭和7年2月に改築が行われ現在の形になった。境内石造物はほかに常夜灯、大日社、石の祠などがあるが、彦山大権現は寛文3年(1663)、エベスさんは大正6年3月の銘がある。これらは圃場整備などで境内に移されたものが多いようである。10月の供日には面浮立が奉納されていた。	④	無	有
74	松土居		一部が圃場整備により消滅。	⑦	無	有

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
無	無	圍場整備等で一部が残っている。集落内を通る部分がきれぎれに残る。僅かに古い建物が残っているところがある。	圍場整備などできれぎれに残っている。生活道路でもあり整備は困難か。石造物などの分布調査が必要か。	とんさんみち	68
無	無	牛尾山には別当坊護摩堂、金毘羅大権現跡、仏の辻等がある。丹坂峠、姫御前を通る。	左記遺構は存在するが保存対策及び分布調査は行われていない。	修驗道	69
無	無	ほとんど残っていない。	芦刈側では漁港として一部使われているが、昔のものではない。	住之江港	70
無	無	拝観可能。境内には千葉氏を感じさせるものは何も残っていない。	周辺に石造物や墓地の調査が必要か。	見明寺	71
無	無	肥前鳥居。建物の傷みが進んでいる。鳥居もずれが生じている。	肥前鳥居の保存処理が必要。表面のコケ類での損傷が著しい。	妙見社 肥前鳥居	
数台可	無	平安仏は拝観不可。肥前鳥居が注連縄で擦れて銘文が読み難くなりつつある。	肥前鳥居と石造物群の保存対策と、本殿屋根の修理が必要。	鏡神社	72
公民館	無	地元で管理、市より委託金。	現在の状況は良好である。	織島神社の楠	
有 45台	無	地元で管理、市より委託金。		勝妙寺の銀木犀	
		地元で管理、市より委託金。		淀姫宮の楠	
		地元で管理、市より委託金。建物のほとんどが残るが操業していないため痛みがひどく荒れるに任せられている。	私有地のため立ち入れない。建物の多くが壁が落ちるなどこれ以上放置すれば崩壊の危険。	千代雀の楠 (古川酒造)	
		地元で管理、市より委託金。		五条天満宮の楠	73
		地元で管理、市より委託金。		七星宮の楠	
		地元で管理、市より委託金。楠の根方に五輪塔の水輪と思われる石材が二個転がっている。	現在の状況は良好である。	甲柳原天満宮の楠	
有 5台	無	上部が削られて道路になっている。	一部が圍場整備により消滅。以後大掛かりな開発がなければ現状維持できるが、海岸道路が一部かかるため改変は避けられない。	松土居	74

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾ ン	案 内 板	解 説 板
74	龍王社		松土居上にある。	(7)	無	無
	耕地整理記念碑		松土居上にある。	(7)	無	無
	恵比寿像		松土居上にある。	(7)	無	無
75	晴気天山社	▲	長保4年(1002)藤原康家が現在地に遷座。千葉氏、鍋島氏からも崇敬された。	(1)	有	有
76	天山社上宮		勧請記によれば大宝4年(702)藤原安弘が天山の池の中に島を築き祠をたて宇賀御魂神をまつり天山上宮と定めたことに始まるといふ。晴気天山社より約10kmの山道。	(1)	無	無
77	石切屋敷村		佐賀本藩直属石工集団の村で本藩領。武富氏が石工頭。	(4)	無	無
78	日吉神社(島溝)		大正11年(1922)建立の鳥居の扁額は山王神社とある。堂宇内殿正面に中林梧竹筆の日吉神社の大額が掲げられている。映画撮影地。	(4)	無	無
79	雲海山岩蔵寺	▲	延暦22年(803)、比叡山より聖命上人が勅を受けてこの地に下り創建したと伝わる、天台宗の名刹である。昭和59年火災により多くの文化財を焼失。	(1)	無	有
80	岩蔵天山神社	▲	鎮座の時期は不明。天正18年(1590)鍋島直茂により社殿を再建。	(1)	無	有
80	岩蔵天山神社 鳥居		二の鳥居は慶長17年(1612)鍋島直茂、勝茂、元茂、神代家良により寄進された肥前鳥居。一の鳥居は寛文5年(1665)小城2代藩主鍋島直能である。	(1)	無	有
	水車小屋盛業地跡		明治後期から大正前期にかけて多くの水車が製粉を行った。祇園川水系37、晴気川水系16、計53を数えた。この水車で製粉した小麦粉で素麺を製造した小城の素麺は神埼素麺に勝るといわれた。小麦の製粉には小城町内だけでなく、白石、福富、芦刈まで及んだ。	(1)		
81	大日堂(岩蔵)		大日堂は宗教法人に登録されていないお堂のみの施設である。内部の厨子は鞘堂にあつた棟札から明和2年(1765)に建立されたと思われる。厨子内部に大日如来をまつる。	(1)		
82	江里山観音堂		開山の時期は不明。日蓮宗寺院。境内の板碑の最古のものは天文3年(1534)銘を持つ仁戸田氏のもの。この時期には仁戸田氏(千葉氏一族)に崇敬されていたと思われる。	(1)	有	無

指定 : ●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント（名称）	No.
無	無	天保年間銘石製祠。周囲の石造物が集められたようだ。	拝殿がつくなど社として祭られている。	龍王社	
無	無	明治37年の記念碑。花崗岩の石柱。	芦刈の耕地整理の歴史を知る上で貴重になってくると思われるので、解説板と拓本による解説も必要では。	耕地整理記念碑	74
無	無	天保年間銘がある。	周囲は道路の裏面であるため、草焼のとき被熱しているようなので、解説板を立てるなどして保護の必要あり。	恵比寿像	
有 約10台	無	台風13号により杉が倒れ拝殿屋根を損傷。平成12年新築のもの。古い建物は神門のみ。	鳥居が苔むして文字が読めなくなりつつあり、対策が必要。	晴気天山社	75
有 20台	有 登山者用	石製祠に屋根が架けられている。鳥居は昭和初期のもの。周囲には損傷して放棄された石造物が散在する。	肥前狛犬の防犯対策が必要か。	天山社上宮	76
無	無	西川宿東に屋敷地があった。現在遺構はない。周辺にしこなとして名を残すだけである。	周辺に残る石造物の分布調査が必要か。	石切屋敷村	77
無	無	鳥居は大正期、篭り堂は昭和初期。石造物は板碑が古そうだが年代読み取れず。鳥居横の改築記念碑は元治2年とあった。	建物は全て近代以降の改築である。境内の板碑など石造物の調査と保存が必要か。	日吉神社（島溝）	78
有		現在の階段は本堂横の観音堂に向かっているが、本来の階段は忠靈社によってつぶされたようだ。	本堂、庫裏、観音堂とも新しい。石造物が多数あり保存整備の必要有り。	雲海山岩蔵寺	79
有	有	拝殿、本殿ともに改築されているが古い部材がかなり使われている。石造物が多数あるが、かなり破損している。	周辺の整備と石造物の保存修復が必要。	岩藏天山神社	80
有	有	拝殿・本殿ともに改築されているが古い部材がかなり使われている。石造物が多数あるがかなり破損している。	周辺の整備と石造物の保存修復が必要。	岩藏天山神社 鳥居	
		現在河川改修などで痕跡はまったくない。ただ岩藏天山神社駐車場前の消防小屋道路前に小さな石碑がある。		水車小屋盛業地跡	80
		厨子を納める鞘堂はコンクリート造り。拝殿は昭和35年（1960）改築されたと思われる。	地域に崇拝されるお堂であり、現状では問題ないのであ。	大日堂（岩藏）	81
有	無	建物周辺が荒れている。また東側が開発されている。板碑が多数が散在。	板碑の分布調査と拓本による解説が必要か。	江里山観音堂	82

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾ ン	案 内 板	解 説 板
83	北浦妙見社		千葉氏が下総千葉の妙見社を分けて勧請したもの。	① ② ③	無	無
	妙見（北浦）遺跡		千葉氏館跡。昭和 55～57 年（1980～82）圃場整備に伴う調査で多数の掘建柱建物跡が出土。	① ② ③	無	有
84	北浦、吉祥坊谷射撃場跡		本藩の指示による調練を安政 3 年（1858）より始め、銃陣調練は興譲館敷地内調練場が使われ、本藩との合同では大和町の八幡原が使われた。銃砲射撃訓練は北浦、吉祥坊谷（散分村）において行われた。	① ② ③		
85	持福寺		創建は南北朝期の永徳 2 年（1382）の曹洞宗寺院。日露戦争時、旅順港の夜間雷撃で戦死した永田大尉の墓碑があり、戦前は学童、生徒などがお参りにきていたとのこと。お参りにきた学童生徒に鉛筆などを配ったりしたと寺の方（住職御母堂）の話であった。永田大尉の実家は從来晴気であったがこちらへ移ってこられたのだとお話を聞きました。	① ②	無	無
86	織島神社	▲	もともとは水神八天龍王をまつる仏教の廟であったが、明治の神仏分離令により神社となってしまった。しかし地元では龍王さんとして敬い現在にいたる。12 月に龍王浮立を奉納。	②	無	無
87	戸田流納富道場跡と鬼塚		慶応年間に出た納富教衆が三里の西川に講武館を開く。	②	無	有 木製 標柱
88	本龍院（西晴気）		臨済宗南禅寺派寺院。本寺の開基が千葉胤頼であり、胤頼の位牌が保管されている。	①	無	無
89	寄居のさむらい屋敷跡		千葉氏の館跡推定地。晴気城の東側丘陵先端に位置している。その東側を晴気川が流れ、天然の堀を想定してこの地に屋敷を置いたかも知れない。	①	無	有
90	千葉胤頼墓（立中社）		胤頼は少式時尚の実弟で晴気城に居住した。永禄 2 年（1559）竜造寺方の攻撃を受け討ち死。遺骸は三間山に葬られたと伝わるので、この場所が討ち死にした場所か。	①	無	有
91	西郷大庄屋古賀家屋敷跡		小城藩の行政区画は 10 の郷から成り、郷の直接支配者を大庄屋といった。別名竹林居ともいった。	②	無	有
92	清淨院（門前）		古賀利涉（維新の志士で別名祇園太郎）墓がある。創建は中世後期と伝えられる三岳寺末寺。	②	無	無

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22 世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント（名称）	No.
有	無	建物は新しい。鳥居周辺に集められた板碑は年号が読めるのは1基だけで、寛永12年と読めた。	境内には公民館や消防小屋などが建ち、改変が著しい。板碑は早く解説の必要あり。	北浦妙見社	83
無	無	疣観音の石碑が建っている。周囲も調査されているが埋め戻されている。	目に見えるのは石塚だけのため説明が困難。	妙見（北浦）遺跡	
		現在圃場整備、河川改修などで旧觀が残っていないが、以前は北浦堤防などで銃弾が表採されている。	遺跡として目に見えるものはないが、戊辰戦争に出陣し、東北を転戦した洋式装備部隊搖籃の地として貴重では。	北浦、吉祥坊谷射撃場跡	84
有 約5台	無	建物は近年建て替えられている。中世石造物の五輪塔、宝函印塔部材が多数散在している。土砂崩れによるとのこと。	六地蔵は記年銘なし。部材の混在が見られる。又周辺には多数の石造物が散在しており分布調査と保存の必要有り。	持福寺	85
公民館	無	境内には鳥居（享保9年[1724]建立）、宝曆10年（1760）寄進の石灯籠、狛犬、など石造物がある。鳥居記年銘など風化が進む。本殿床下に石のおもりあり。	鳥居など石造物の風化対策が必要。	織島神社	86
無	無	現状では鬼塚に標柱があるだけである。道場跡は宅地と耕作地となっている。	道場跡はまったく痕跡がなく説明だけとなる。	戸田流納富道場跡と鬼塚	87
有	無	建物も境内も近年改修されている。付近に石造物が集められた場所あり。	石仏は全体的に苔が多くついている。昭和期の石仏も同様で苔の対策が必要。	本龍院（西晴氣）	88
無	無	建物跡はわからないが、千葉氏の晴氣城近くであり、石塔群と平場がある。平場には礎石と井戸跡があつたらしいが、現在は見当たらぬ。	石塔群は付近の開発により集められたようで時代不明のものがあり、調査の必要あり。	寄居のさむらい屋敷跡	89
無	無	現在社が建てられ、石祠が祀られている。その下は塚状に石と土が盛られたもの。	現在地元の人たちにより保護されている。	千葉胤頼墓（立中社）	90
無	無	現在は居住者も変わり、建物も昔のものではない。	周囲の自然景観が残されており、屋敷の庭とあいまって非常に良い状況である。	西郷大庄屋古賀家屋敷跡	91
有	有	石造物など多い。寺による管理のみのため、傷みが見られる。	寺により管理されているが、古い石造物の傷みと倒壊したもののが修理や保存対策、調査がされていない。	清淨院（門前）	92

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開拓と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾ ン	案 内 板	解 説 板
92	祇園太郎の墓 (維新志士)		古賀利涉は西郷大庄屋古賀家の出である。安政5年(1858)脱藩し、九州・中国・京畿などで活動。真木和泉、河野鉄兜、枝吉神陽、江藤新平、桂小五郎らと交わる。文久3年(1863)桂小五郎の紹介で学習院外事係に出仕して、三条、東久世の公卿と往来した。長州で奇兵隊にはいり祇園太郎と称して高杉晋作などと交わる。勅使を奉じて九州に赴くが、政変により京都に帰ることができず、病気もあって郷里に帰り、慶応2年(1866)12月12日没した。享年34才。	②	無	無
93	八天神社(焼山)	▲	焼山の八天さんとして知られる。清涼山泉鏡坊として山伏の修験道場であったが、明治後神社として祭られる。	①	有	有
	修験場跡		八天神社の東にあった修験跡または住居跡。八天神社から東へ約300mの小川に沿って約100m登った東側高台にある。	①	無	無
94	小松山建保寺	▲	『肥前旧事(巻五)』に若訥の招かれた蘭渓道隆により創建と記されている。	①		
	木造千手観音菩薩立像	☆	平安時代前期の特徴をもち、10世紀前半の作と推定される。			
95	堀江神社〔八幡社〕(四条)	▲	建武元年(1334)千葉胤貞により創建。明暦3年(1657)小城藩主鍋島直能社殿を改築。慶応元年(1865)藩主直虎が石材をもって神殿を改築。	④		
96	宇佐神社(道辺)	▲	大同2年(807)西海道觀察使が巡檢の折同地で病気になり筑前宇美八幡宮に病氣平癒を祈願したところ、忽ち治ったので大柳(古地名)に宇美八幡宮を勧請した。その後平安末の平家打倒の鹿ヶ谷事件に連座した僧俊寛が帰洛を宇佐八幡社に祈願し、治承3年(1179)宇佐八幡宮を当社に合祀した。寛永14年(1637)小城初代藩主鍋島元茂により洪水の憂いのため大柳から現在の地に移転された。以後代々の藩主から改築修理される。	④		
97	七星宮(佐織)		由来、来歴を示す資料はないが、三日月一の高神とされる。現在の本殿は、鑑定では江戸中期までさかのぼるといわれている。	④		
98	日吉神社(高田)	▲	元享2年(1322)千葉胤貞が下向のおり比叡山日吉神社の分霊を奉じ無事に参着した所が、蠶調郷皆良田の里(現高田)で、社殿を造り祀ったとされる。以来代々の領主が、加護改築した。	④		

指定：●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財

◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産

△佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント(名称)	No.
		墓石は祇園太郎之碑とあり揮毫は正二位伯爵実美書である。	手入れもよく入り口石柱の苔が気になるくらいである。	祇園太郎の墓 (維新志士)	92
有	有	建物石造物とも近世、近代のもの。本殿前の石垣東側にはらみが見られる。	石垣に孕みが見られ対策が必要。石垣前の樹根の影響と思われる。	八天神社(焼山)	
無	無	平成4年(1992)発行の小城町の文化財には位置が記載されているが開発により発見できず。	開発により地形が完全に変わっており、僅かに小川跡の東側高台と思われる場所はあったが石積み等確認できず。	修験場跡	93
		小城町史には廃寺となっている。現在厨子を収める堂のみが残る。厨子内面板壁の墨書きにより延宝8年(1680)とされる。		小松山建保寺	94
		上記厨子のなかに安置される。像高111cm、材質は檜材である。	厨子の中に保管されており、非公開。	木造千手観音菩薩立像	
		八幡社堂宇内宝殿正面に中林梧竹筆『八幡社』の額がある。宝殿石倉は明治16年(1883)奉納。境内には石馬1対ほか石造物がある。		堀江神社〔八幡社〕(四条)	95
		境内には石造物が多数あるが大正から昭和にかけてのものがほとんどである。H18年度に九州産業大学が調査をおこなう。		宇佐神社(道辺)	96
		境内入り口に陣内天満宮。籠堂と拝殿が一体となった堂宇を有し石祠を持つ。石祠には元禄15年(1702)の銘文。鳥居は享保6年(1761)の銘文をもつ。		七星宮(佐織)	97
		現在の社殿は文化8年(1811)銅葺に改築され現在にいたっている。境内には舞台、石造物がある。祭神に山の神とされる大山昨命を祭神とするので山王社とも言われ、日吉社神の使いは猿が知られ、石造の猿が奉納されている。		日吉神社(高田)	98

ゾーン：①やまなみ ②仮の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
⑦開発と干拓

No.	名称	指定	概略	ゾ ン	案 内 板	解 説 板
99	長妙山円教寺（高田）		高田城があった頃に拝所として建立された寺と伝わる。身延山を本山とする日蓮宗の寺で、弘治元年（1555）日淨上人により開山。	④		
100	愛宕山の勝軍地蔵		愛宕信仰は京都愛宕神社を本社とする。信仰の中心の勝軍地蔵は軍神であり、中世以降武家に信仰された。同信仰は祇園社と同じく千葉氏が京都から勧請したものと思われる。千葉城跡から北西の方角に標高397mの愛宕山があり、山頂に石祠があり愛宕勝軍、地蔵権現と彫られており、建立の日付は応永17年（1410）霜月吉日。この時期の千葉氏は胤基の代であり、千葉氏が最盛期を迎える直前である。	①		

指定：  
 ●国史跡 ◎国重要文化財 ○国登録有形文化財 ★県史跡 ☆県重要文化財  
 ◆市史跡 ◇市重要文化財 □市天然記念物 \* 22世紀に残す佐賀県遺産  
 △佐賀の名木・古木 ▲小城市百選

## 史跡

歴史上の出来事に關係ある場所、建物などの遺構のことで、国にとって特に重要なものは文化財保護法に基き、文部科学大臣が国の史跡に指定。また各地域の歴史的に重要なものは、地方自治体がそれぞれの文化財保護条例に基いて史跡に指定している。

## 重要文化財

国内の所在する、建造物、美術工芸品などの有形文化財のうち、文化史的、藝術的に特に重要なものを文化財保護法に基き国（文部科学大臣）が指定した文化財。

地方自治体（都道府県、市町村）がそれぞれの文化財保護条例に基いて指定したものは公共団体の重要文化財と指定される。

## 天然記念物

動植物、地質・鉱物など自然物のなかで、学術上価値の高いものを文化財保護法に基き、国または、地方自治体が指定したもの。

## 国登録有形文化財（建造物）

文化財保護法の一部改正によって、保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する「文化財登録制度」。

駐車場	トイレ	現状と問題点	保存対策等	ポイント（名称）	No.
		同地の日吉神社一の鳥居銘文に、文化丙寅（3年1806）宮司長妙山円教寺十二世俊口坊とある。		長妙山円教寺（高田）	99
		愛宕山は麓から中腹くらいまで蜜柑園が造られており、山頂近くまで農林道ができている。		愛宕山の勝軍地蔵	100

ゾーン：①やまなみ ②仏の里 ③小京都 ④弥生の風 ⑤長崎街道 ⑥石工の里  
 ⑦開発と干拓

## 22 世紀に残す佐賀県遺産

文化的価値の高い（将来国・県の指定重要文化財となるものや建物にまつわる、将来に引き継いでいくべき物語があるなど）建造物、又は景観上地域を象徴するような建造物で、市町村又は所有者から申請のあったもののうち、建造物の保存又は活用に取り組まれている場合で、佐賀県遺産選定委員会の意見を参考として、佐賀県遺産会議が認定するもの。

### 佐賀の名木・古木（佐賀の名木百選）

佐賀県が選定した県内の名木・古木で約900本におよぶ。さらにその中から佐賀の名木百選が選定された。

### 小城市百選

小城市では、市の自然・文化の魅力を全国にPRするため、市内の優れた景観・歴史遺産・郷土芸能産業・民俗など100点（人・団体・出来事）を『「いいもの」「伝えたいもの」「残したいもの』小城市百選』として選定。

## 2. 小城市的無形文化財

### (1) 小城市の文化財

#### 1) 祭りと芸能

各地区に残されている祭りと芸能を表で示す。

表3-1 小城市の祭りと芸能

祭りと芸能	期間	場所	地区と主催団体など
御田（田植え前の行事） 天山神社の春祭り	5月1日	晴気地区：晴気天山社 岩蔵地区：岩蔵天山神社	晴気地区 御神輿担ぎは浮立当番地区（お下り）及び次年浮立当番地区（お上り）
祇園会 団扇祇園（山曳祇園） 小城祇園夏まつり	7月下旬	須賀神社下から下町にかけて	上町、中町、下町 小城山鉾保存会
晴気天山社の秋祭り 浮立	10月15日 (旧暦九月十五日)	晴気谷 晴気天山社、お観音さん、八天さんに奉納	晴気谷各地区 西晴気、宿、一本松、松葉、中善寺、寒氣、本山、中村、川原、東小松、郷ノ木、庄、寺浦、円光寺、平原、鶯原、西の谷、砂田、黒原、出分、峯、(鐘浮立)
川内浮立（太鼓浮立） 注連元（大名行列）			川内地区 川内浮立保存会
岩蔵天山神社の秋祭り 浮立、天衝舞 注連元（しめもと）	10月15日 (旧暦九月十五日)	岩蔵谷 岩蔵天山神社	岩蔵地区 中、松本、江里口、大日、二瀬川、永泉寺の六集落

#### 2) 伝説

「曾我兄弟」、「鍋島勝茂公の狩り」、「皿屋敷（地蔵屋敷）」、「イボ地蔵」、「松本地名起源と虎御前」、「お棚地名起源と姫御前まつり」、「よけい場」、「天山神社の中宮さん」、「山王社の由来」、「小松重盛（平家伝説）」

#### 3) 昔話

「カッポウ鳥の話」、「かっちゃんとけたか（継子の髪）」、「親不幸ビックキー」、「猿どん蟹どん（「猿と蟹」、「猿と蟹の餅競争」）」、「蛇媚入り」、「桃酒由来たん」、「味噌豆は七里も立ち戻って食え（継子話）」、「継子と鳥」、「継子の椎の実拾い」、「川渡い餅の由來たん」、「河童の相撲とり（世間話）」、「姥捨て山」、「長い名の子（子供の運命）」

#### 4) 笑い話

「和尚と三人小僧」、「和尚と小僧」、「馬鹿ムコ（一口話）」、「屁ふり嫁」

## (2) 三日月町の文化財

### 1) 祭りと芸能

各地区に残されている祭りと芸能を表で示す。

表3-2 三日月町の祭りと芸能

祭りと芸能	期間	場所	地区と主催団体など
女相撲甚句	10月	淀姫神社	三日月町女相撲甚句保存会
甲柳原 天満宮 面浮立	10月15日	天満宮に五穀豊穣・災難除けに奉納	甲柳原地区 甲柳原面浮立保存会
織島神社（龍王さん） 龍王浮立 (戦中に途絶えた浮立を復活させた創作浮立)	12月辰の日に近い日曜日に奉納	織島神社境内	織島地区 三日月龍王浮立保存会

## (3) 牛津町の文化財

### 1) 祭りと芸能

各地区に残されている祭りと芸能を表で示す。

表3-3 牛津町の祭りと芸能

祭りと芸能	期間	場所	地区と主催団体など
若宮神社 弁財天社 八龍神社 天満神社 馬頭観音	5月1日 5月12日 5月23日 5月25日 7月10日	柿樋瀬若宮神社 弁財天社 八龍神社 天満神社 馬頭観音	柿樋瀬地区 柿樋瀬子供浮立保存会 (太鼓浮立)
二十三夜尊 浮立	8月23日	谷集落入り口の二十三夜尊前	谷集落 谷青少年浮立保存会
八幡神社神風通夜 太鼓浮立	8月31日	内砥川八幡神社	砥川地区 両新村・泉、谷、内砥川、 砥川町・新屋敷・宿古賀、下砥川（蒲原・永田・ 柳鶴・寺町）
八幡神社神幸行列 鐘浮立	10月	内砥川八幡神社	砥川地区 内砥川鐘浮立保存会 両新村・泉、谷、内砥川、 砥川町・新屋敷・宿古賀、下砥川（蒲原・永田・ 柳鶴・寺町）
八幡神社秋の祭礼 宮座の神事	10月	内砥川八幡神社	砥川地区 上砥川子供宮座保存会 両新村・泉、谷、内砥川、 砥川町・新屋敷・宿古賀、下砥川（蒲原・永田・ 柳鶴・寺町）
牛尾神社神幸行列	定期的な巡幸なし 天変地異などの異変があるとき	牛尾神社から 前満江沖神社	小城町と勝集落
乙宮神社神幸行列	10月	乙宮神社	牛津本町一帯 五町（新宿・本町・中町・ 立町・西町）
江津西宮神社神幸行列	4月	江津西宮神社から牛津新町の西宮神社間	江津、牛津新町、栄町、 西江津
練ヶ里天満神社	4月1日	練ヶ里天満神社	練ヶ里地区 練ヶ里子供太鼓浮立
愛宕神社			愛宕神社浮立会

## 2) 伝説

「牛津の名の由来」、「赤子塚」、「潮土居觀音」、「悪七天神」、「子安觀音」、「円長寺井樋」、「巨福山觀音堂と平家伝説」、「持永盛秀の墓」、「大石良知の墓」

## (4) 芦刈町の文化財

芦刈町は市内の南部、有明海側に位置し、その土地のほとんどが以前は海であったところである。人々は干拓をおこない土地を増やしてきた。その名残が今も地名に残っている。

(※有形のものについては参考資料を参照)

### 1) 祭りと芸能

各地区に残されている祭りと芸能を表で示す。

表3-4 芦刈町の祭りと芸能

祭りと芸能	期間	場所	地区と主催団体など
おんだみやー（御田祭）	5月1・2日	乙宮神社（中溝）	中溝地区
おくんち 御神輿さん 面浮立	10月19・20日	乙宮神社（中溝）	中溝地区 小路区面浮立保存会 下古賀面浮立保存会 下古賀子供面浮立保存会
島みやー（島詣り） 太鼓浮立	旧暦六月十九日	鹿島市七浦沖合い 沖の島《お島さん》 このほか各地の氏神様にも奉納される。	芦刈町太鼓浮立同好会 牛王太鼓浮立保存会 芦刈町弁財太鼓浮立同好会 佐賀ムツゴロウ王国芦刈女性太鼓浮立同好会
新地節（地踊り）			六丁新地踊り保存会

## 2) 伝説

「清東院田」、「觀音丸」、「幽靈田」

## 3) 民話

「もどせー、かえせー」

### 3. 小城市内の百選と小京都

#### (1) 日本の名水百選「清水川」

##### 1) 選定期

昭和 60 年 (1985)

##### 2) 選定機関

名水百選調査検討委員会・環境庁

##### 3) 選定趣旨・目的

清澄な水、湧水と表流水について、古くから地域住民の生活に溶け込み、住民自身による保全活動がなされてきたものを再発見し広く国民に紹介することを目的としこれを通じ、国民の水質保全への意欲を呼び起したい。

#### (2) さくらの名所百選「小城公園の桜」

##### 1) 選定期

平成 2 年 (1990)

##### 2) 選定機関

(財) 日本さくらの会

##### 3) 選定趣旨・目的

昭和 39 年 (1664) 日本の国花さくらの愛護・保存・育成・普及等を目的に設立。

#### (3) ふるさといきものの里百選「祇園川のゲンジボタル」

##### 1) 選定期

平成元年 (1989)

##### 2) 選定機関

ふるさといきものの里検討会・環境庁自然保護局

##### 3) 選定趣旨・目的

身近な自然の象徴である小動物とその生活環境の保全・回復を図る地域住民の努力を顕彰するとともに、広く国民に紹介し、その認識を深め、身近な自然の積極的な保全・創出に資することを目的として選定した。

**(4) 全国農村景観百選（美しい日本のむら景観100選）「江里山地区」**

**1) 選定時期**

平成3年（1991）

**2) 選定機関**

農村景観百選調査検討会・農林水産省

**3) 選定趣旨・目的**

快適で誇りを持って居住できる活力ある美しい農村風景を保つために選定した。

**(5) 日本の棚田百選「江里山の棚田」**

**1) 選定時期**

平成11年（1999）

**2) 選定機関**

「日本の棚田百選」選定委員会・農林水産省（社団法人農村環境整備センター）

**3) 選定趣旨・目的**

中山間地域に広く分布する棚田は、立地条件を活かした特色ある農業生産の場と、国土・環境保全、美しい景観伝統文化の継承等多面的機能を発揮している。こうした棚田について、保全や整備活動を推進し、農業農村に対する理解を深めるため、優れた棚田を認定した。

**(6) 小京都「小城町」**

**1) 選定機関**

全国京都会議

**2) 選定趣旨・目的**

全国京都会議は全国の小京都をはじめ、京都ゆかりの市町と京都市とが手を結び発足した組織で北は弘前市、南は知覧町まで約50市町が参加している。昭和60年（1985）結成され、昭和63年（1988）の第4回総会で加盟基準が定められた。

1. 京都に似た自然と景観
2. 京都との歴史的なつながり
3. 伝統的な産業と芸能があること

以上3つの要件の一つ以上合致すれば加盟が認められる。

## （7）日本の歴史公園 100 選「小城公園」

### 1) 選定時期

平成 18 年（2006）10 月 27 日認定

### 2) 選定機関

都市公園法施行 50 周年等記念事業実行委員会

### 3) 選定趣旨・目的

我が国においては、古墳や城跡、庭園、文化的な価値を有する建造物など、歴史的・文化的資源を保全・再生・活用し、地域の顔となっている公園が全国各地に数多く存在している。「優れた歴史的・文化的資源を有し、地域活性化に貢献している歴史公園」の評価・選定を行い、これらの魅力を国の内外に広く伝えるとともに、歴史的・文化的資源の保存・継承・活用、観光振興、活力に満ちた地域社会の実現等に資することを目的とする。

## （8）美しい日本の歴史的風土 100 選 準 100 選「小城鍋島家城下町の遺産」

### 1) 選定時期

平成 19 年（2007）1 月 31 日選定

### 2) 選定機関

美しい日本の歴史的風土 100 選実行委員会

### 3) 選定趣旨・目的

歴史上意義を有する建造物、遺跡等が周囲の山丘などの自然的環境と一体をなして古都における独特の風情をかもし出している様を「歴史的風土」と定義し、様々な保存施策を講じている「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」が施行されて 40 周年に当たる。

長い歴史と伝統を有し、豊かな自然に恵まれたわが国では、古都以外にも歴史的・文化的資産が、山丘や樹林地などの自然的環境と一体となった美しい「歴史的風土」を形成している地域が全国各地に多数存在する。これらの歴史的風土は、わが国の自然、歴史や伝統の積み重ねに裏打ちされた美しい日本の国土の源であり、国民共有の文化的資産として保存・継承していく必要がある。

このため、次世代に継承すべき美しい日本の歴史的風土が良好に保存されている全国の事例について、これらの魅力を国の内外に広く伝えるとともに、歴史的風土の保存と継承、観光立国、風格ある美しい活力に満ちた地域社会の実現等に資することを目的とする。

## 4. データベースとインターネットの活用

### (1) パノラマの利用

#### 1) 地図と連動したパノラマ動画

地図と連動したパノラマ動画を作成し、地図上の地点（遺跡や文化施設）をクリックすることで、その地点の情報とパノラマ画像を表示させる。

#### 2) 建築物のパノラマ化

古墳内部、建築物等、通常開放されていない施設の内部をパノラマ化して、資料館等、ホームページ上で公開する。

### (2) レイヤー分けを利用した地図表示

ゾーンのレイヤー分けをおこない、ボタン等をクリックすることで、そのゾーン、ルート等を浮かび上がらせると共に情報を表示させる。例えば条里、時代別、寺社、古墳等の種別でのレイヤー分けし、選択することでその情報が表示されるようとする。

### (3) 古写真を利用したデータベース

小城市の、古い町並みや風景、人物を撮影した写真を、市民や公共機関より集め、デジタル化を行い、データベース化する。

#### 1) 活用方法

現在の町並みと比較したり、資料館等の施設で公開、あるいはホームページに公開する。

#### 2) 検索方法の例

- ・撮影対象から検索（例：建築物）
- ・撮影地域から検索（例：旧小城市）
- ・人物から検索（例：中林梧竹）
- ・時代から検索（例：昭和40年代）

### (4) QRコードの活用

QRコードで、携帯サイトの誘導や、携帯電話のアドレス帳への登録をおこなえるようにし、訪問者の情報入手を得やすくする。

#### 1) QRコードの機能利用について

QRコードの以下の機能を利用する

- ・携帯のアドレス帳に連絡先（氏名、電話番号、メールアドレスの追加）
- ・指定URL（ホームページ）への誘導

## 2) QR コードの提供方法と利用形態

### ①提供方法

- ・パンフレットへの印刷
- ・ホームページでの表示
- ・サインへの掲載

### ②利用形態

- ・携帯サイトへの誘導
- ・アドレス帳への連絡先追加機能
- ・ゾーン分け、或いは対象に応じたページへの誘導

## 3) QR コードの認知度と利用率

楽天リサーチの調査 2005.2.01 認知度は9割弱・使用は3割弱

Docomo リポート 2006.3.31 認知度は9割強・使用は7割

### (5) 携帯サイトでのデータベース情報提供

訪問者への情報提供の一部として、名称、解説、及び地図情報等を知ることの出来る携帯サイトを作成する。

### (6) 画像投稿サイトの作成と公開

デジカメ、携帯電話で撮影した、小城市の四季の風景写真等を投稿してもらい、四季ごと、ゾーンごとに公開する。

### (7) RSS を利用した定期的な情報発信

RSS とは、WEB サイトの概要を記述するための形式で、RSS を使うとサイトの更新情報を、RSS 情報を得ている人に、タイムリー送ることができる。RSS を利用して、イベント等の定期的な情報発信をおこない、RSS フィード購読者の関心を高める。

RSS の状況として、Internet Explorer7.0 からは、RSS フィードを購読する機能が標準搭載されている。また、全国自治体での RSS 配信率は約 5% である。

## 1) RSS 利用の利点と問題点

### ①利点

- ・RSS フィードの購読者に、タイムリーに情報を伝えられる。
- ・同じような情報発信のシステムとして、メール配信システムが考えられるが、個人情報を登録する必要性がない。

### ②問題点

- ・ホームページを見る側が、RSS フィードの登録を選択することになるので、能動性がメール配信システムより薄い。
- ・RSS 利用が今後どのくらい広まるか不透明。



## 参考文献

---

### 「小城町史」

小城町史編集委員会、昭和 49 年（1974 年）

### 「三日月町史」

三日月町史編纂委員会、上巻 昭和 60 年（1985 年）

下巻 平成元年（1989 年）

### 「牛津町史」

牛津町史編纂事務局、平成 2 年（1990 年）

### 「芦刈町史」

芦刈町史編纂委員会、昭和 49 年（1974 年）

### 「小城市の文化財」

小城市教育委員会、平成 18 年（2006 年）

### 「小城町の文化財」

小城町教育委員会、平成 4 年（1992 年）

### 「新ふるさとの歴史」

小城郷土史研究会、平成 4 年（1992 年）

### 「小城町の建造物」

執筆：佐藤正彦 発行：小城町、平成 13 年（2001 年）

### 「肥前千葉氏シンポジウム 小京都小城のルーツを探る」

肥前千葉氏と小京都小城—歴史遺産を活かしたまちづくり— 講演録

小城町・小城町教育委員会、平成 15 年（2003 年）

### 「みかづきの文化財 第一章 神社寺院編」

三日月町教育委員会、平成 4 年（1992 年）

### 「多久の歴史」

多久市史編纂委員会、昭和 39 年（1964 年）

「肥前叢書」

肥前史談会編、昭和 14 年（1939 年）、昭和 48 年（1973 年）復刻青潮社

「二千人が七百の村で聞き取った二万の地名、しこ名

—佐賀平野の歴史地名地図稿一」

服部英雄、花書院、平成 13 年（2001 年）

「肥前修驗道の研究」

白濱信之、葦書房、平成 2 年（1990 年）

「あるある佐賀の底力 上巻・歴史編」

押田努、佐賀新聞社、平成 11 年（1999 年）

「肥前の菓子 シュガーロード長崎街道を行く」

村岡安廣、佐賀新聞社、平成 18 年（2006 年）

「佐賀県の地名 日本歴史地名大系 42」

平凡社、昭和 55 年（1980 年）

「角川地名大辞典 41 佐賀県」

角川書店、昭和 57 年（1982 年）

「佐賀の隠れ味 食文化をたずねて」

貞松光男、佐賀新聞社、平成 13 年（2001 年）

「日本史リブレット 24 武士と莊園支配」

服部英雄、山川出版社、平成 16 年（2004 年）

～小城どこでんミュージアム～  
屋根のない博物館構想

発行日：2007年3月23日

発行：小城市  
〒849-0302 佐賀県小城市牛津町柿樋瀬 1100-1

小城市教育委員会  
〒845-8501 佐賀県小城市小城町 253-21

編集：(株)埋蔵文化財サポートシステム  
〒849-0924 佐賀県佐賀市新中町 1-7

印刷：九州電算(株)  
〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉 1848-20